

香川県産植物目録・補遺 1. —在来種子植物—

久 米 修

〒761-8074 高松市太田上町78-11

Flora of Kagawa, Addenda 1, Native Spermatophytes

Osamu Kume, 78-11, Ootakamimachi, Takamatu 761-8074, Japan

はじめに

香川県に生育している維管束植物を対象にした目録は、香川県（1980・1981・1983・1984）により一度作成されている。これは、標本に基づく目録であり、作成者も県内の複数の研究者が参加して総意の下に編纂されたものであった。ただ出版物が、県の行政資料として刊行された事から、一般には入手する事が困難であった。また作成から30余年が経過し、新たな知見や修正点も蓄積しており、一度整理しておく必要があった。本来なら全面的な改正が望ましいが、筆者一人の能力では遠く及ばず、これまで筆者の下に寄せられた情報を基に、補遺の形で追加部分を取りまとめる事にした。補遺目録は、在来種子植物と在来シダ植物、帰化植物の3編に分けて報告する事にし、今回は在来種子植物編を報告する。

とりまとめの方法

植物目録のとりまとめに当たっては、後世には是正が可能な様に、標本を提示するのが原則である。しかしながら、香川県には標本を収蔵する公的な機関も施設も無い事から、個人的に所持しているのが現状である。個人所有の場合、標本の管理が十分いき届かない事

や、故人となった場合に散逸する事になる。従って筆者は、最近では標本作製を控えてきた。この様な状況から、本稿では、標本の有無にこだわらず、各種文献記録も取り入れて目録の追補を行った。

目録作成に当たり、出来るだけ多くの情報を得る事に務め、可能な限りの標本、写真資料、文献資料を収集した。

根拠となる標本の調査については、筆者が保管している標本を再検討し、標本の同定に基づき記載した種については「採集」と記述した。筆者以外の者が採集した標本について、筆者自身が目にして同定したものは「採集」と記述し、出来る限り標本に基づく目録作成とした。標本は、原則的には採集者が保管している。

文献引用については、記録と記述して引用文献名を明記したが、産地名の表示されていないものも含まれている。香川植物の会会報は、慣例的には文献として取り扱われない範疇のものである。しかし1973年創刊以来多くの情報が掲載されている事から、明らかな錯誤と思われるものを除外して採用する事とした。ただし、前記文献と区別するため、引用文献とせずに報告とだけ記述した。

ある研究家の残した標本と文献については、以前からその信憑性に疑問が持たれてい

る。その為、香川県（1980 他）では一部を除き採録されなかった。しかしここでは、上記の目的から、香川植物の会会報に報告されたものについては採用する事にした。その場合は、報告と記述して確認できていないと付記した。

写真情報は、基本的に目録作成に未だ採用されていない。しかし香川県希少野生生物調査の過程で集められた多くの証拠写真がある。ここでは、筆者が確認出来た写真資料を採用する事にして（以下標本等を含める）、確認と記述した。当該写真は、香川県が保管している。また香川県希少野生生物調査証拠写真以外の個人所有写真についても、筆者が確認したものは採用して確認と記述した。

発見・採集者については、残されている資料に基づき記述した。人名のない記述は、筆者が発見・採集したものである。

産地の呼称は、発見・標本等採集時、文献等記載の市町名表示とした。一部品種や香川県内に広く分布しており、記録の必要性が少くないと思われるものについては、産地名を省略するか市町名だけを記述した。

生育量は、普通、少数、稀産の3段階区分としたが、客観的な基準が無く、筆者の主観的なものである。筆者が標本等を確認したものについて記述した。

学名と和名、配列は「日本維管束植物目録」邑田仁監修・米倉浩司著（2012）（以下米倉，2012と記す）、「維管束植物分類表」邑田仁監修・米倉浩司著（2013）に従った。学名の末尾に*印の付いたものは、米倉（2012）に掲載されておらず、それ以外の適当と思われる文献から引用したものである。

本目録は、2015年1月31日在の資料に基づくものである。

各 論

SPERMATOPHYTA 種子植物

ANGIOSPERMAE 被子植物

Nymphaeaceae スイレン科

Nuphar saikokuensis Shiga et Kadono* サイコクヒメコウホネ

コウホネ *Nuphar japonica* var. *japonica* とヒメコウホネ *Nuphar subintegerrima* 或いはオグラコウホネ *Nuphar oguraensis* var. *oguraensis* が関与した複雑な交雑種とされる（角野，2014）。香川県（1981）ではコウホネに含めていたが、角野（2014）に掲載された事から取り上げた。2000年10月24日三木町朝倉本村中「新池」、2001年9月24日綾歌町富熊本村北西「宮池」、2010年9月5日さぬき市末末西等で確認したものは、この型である。コウホネと同程度生育しており、稀である。

Chloranthaceae センリョウ科

Sarcandra glabra (Thunb.) Nakai form. *flava* (Makino) Okuyama キミノセンリョウ

果実が黄色に熟す品種で、高松市、三豊市、観音寺市等で確認した。赤色との中間の橙色に熟す品種も稀に見られる。

Aristolochiaceae ウマノスズクサ科

Aristolochia shimadae Hayata アリマウマノスズクサ（ホソバウマノスズクサ）

香川県（1981）ではホソバウマノスズクサ *Aristolochia onoei* として掲載したが、米倉（2012）では、アリマウマノスズクサと同種とされた。

Heterotropa × *mitanii* F.Maek. ex Akasawa サヌキカンアオイ

三谷進が高瀬町上麻原下で発見し、ナンカイアオイ *Asarum nipponicum* var. *nankaiense* とミヤコアオイ *Asarum asperum* の雑種として記載されたが、米倉（2012）は分類学的実体に疑問があると言う。筆者は1982年2月6日に

近接の別箇所でも採集したが、両産地とも道路工事と土地造成で自生地が消滅した。稀である。

MONOCOTYLEDONEAE 単子葉類

Araceae サトイモ科

Arisaema ringens (Thunb.) Schott ムサシアブリ

三井脩が1986年4月29日に多度津町佐柳島で採集した。筆者は、2001年8月2日に観音寺市円上島、2009年6月11日に高松市塩江町安原上東八丁山で確認した。稀である。

Lemna aequinoctialis Welw. ナンゴクアオウキクサ

香川県(1983)ではアオウキクサ *Lemna aoukikusa* subsp. *aoukikusa* と区別していなかったが、葉状態で越冬するものをナンゴクアオウキクサとして区別した(角野・久米, 1992)。アオウキクサとの比率は、その後の詳しい調査が行われておらず、不明である。

Lemna japonica Landolt ムラサキコウキクサ

香川県(1983)ではコウキクサ *Lemna minor* に含めていたが、角野・久米(1992)で区別して記録した。その後調査の進展によりコウキクサは稀であり、ムラサキコウキクサが普通である事が判明した。

Alismataceae オモダカ科

Caldesia parnassifolia (Bassi, ex L.) Parl. form. *natans* Glück ウキマルバオモダカ

浮葉型のまま生活を終える品種で、1984年10月7日に綾南町千疋遠田「大道池」で採集した。

Sagittaria trifolia L. var. *trifolia* form. *longiloba* Makino ホソバオモダカ

葉幅が狭く狭披針形になる品種で、香川県(1983)では区別しなかったが、米倉(2012)に掲載されている事から取り上げた。葉幅の

広狭は連続的に変異が大きく、角野(2014)は独立した分類群と認め難いとしている。

Hydrocharitaceae トチカガミ科

Blyxa aubertii Rich. マルミスブタ

1998年8月29日に大川町南川一ノ瀬「浦谷上池」で採集した。他に、満濃町長尾北山、まんのう町十郷平畑で採集した。稀である。種子が形成されていないものは、スブタ *Blyxa echinosperma* として処理されている。

Halophila nipponica John Kuo ヤマトウミヒルモ(ニッポンウミヒルモ)

香川県(1983)ではウミヒルモ *Halophila ovalis* としたが、ウミヒルモ属の分類が見直された事により、学名と和名が変更された。秋山敬典が2003年10月30日に多度津町西白方海岸寺で確認した。他に秋山敬典が、宇多津町浜安達川河口沖、丸亀市園の洲・本島町生ノ浜で採集した。標本の一部は徳島県立博物館に寄贈した。稀である。

Ottelia alismoides (L.) Pers. ミズオオバコ(オオミズオオバコ)

香川県(1983)ではミズオオバコ *Ottelia japonica* とオオミズオオバコ *Ottelia alismoides* を区別して掲載したが、米倉(2012)では同種とされた。

Potamogetonaceae ヒルムシロ科

Potamogeton × *malainoides* Miki, nom. nud.

アイノコヒルムシロ

ヒルムシロ *Potamogeton distinctus* とササバモ *Potamogeton wrightii* の雑種とされるもので、1982年10月2日に観音寺市池之尻町田中「亀尾池」で採集した。稀である。

Potamogeton × *kamogawaensis* Miki カモガワモ(オオミズヒキモ)

ミズヒキモ *Potamogeton octandrus* var. *miduhikimo* とヤナギモ *Potamogeton oxyphyllus* の雑種とされるもので、三木茂が1934年多度津で採集した記録があるが(志賀他, 2009),

その後確認されていない。

Potamogeton × *orientalis* Hagstr. アイノコイトモ

イトモ *Potamogeton berchtoldii* と ヤナギモ *Potamogeton oxyphyllus* の雑種とされるもので、不稔で結実しない（角野，1994）。1985年9月6日に高松市伏石町で採集した。県内の溜め池や出水，用水路，河川等に生育しており，イトモやヤナギモよりも多い。

県内の河川や水路等の緩い流水中に群生し，極稀にしか花をつけないアイノコイトモ類似の一形がある。角野（1994）はこの型をナガレミズヒキモ *Potamogeton* sp. とし和名を与えたが，角野（2014）では触れられていない。分類学的な検討結果が出るまでは，アイノコイトモに含めておく。

Potamogeton pusillus L. ツツイトモ

三木茂が1929年と1930年に詫間町で採集した記録があるが（志賀他，2009），その後確認されていない。

Zannichellia palustris L. イトクズモ

三木茂が1929年に現在の高松市西浜で採集した記録があるが（志賀他，2009），その後確認されていない。

Burmanniaceae ヒナノシャクジョウ科

Burmannia championii Thwaites ヒナノシャクジョウ

林鈴以が1995年7月30日に財田町で，西内道夫が1995年8月4日に琴南町で確認した。稀である。

Triuridaceae ホンゴウソウ科

Sciaphila nana Blume ホンゴウソウ

秋山敬典が2000年8月14日に丸亀市広島町江ノ浦で確認した。他に，大平豊による産地不詳の報告がある。稀である。

Sciaphila secundiflora Thwaites ex Benth. ウエマツソウ

西内道夫が2000年7月3日に綾上町粉所

東，2000年7月30日に塩江町で確認した。稀である。

Stemonaceae ビヤクブ科

Croomia kinoshitae Kadota* シコクナベワリ

2014年5月22日にまんのう町勝浦三頭で採集した。稀である。

Melanthiaceae シュロソウ科

Paris tetrphylla A.Gray var. *angustifolia* Miq. form. *sessiliflora* (Makino) H.Hara ヨコグラツクバナソウ

花茎が極短いツクバナソウの品種で，香川県（1983）では細分しなかったが，米倉（2012）に掲載されている事から取り上げた。三谷（1995）が仲南町で記録した。

Orchidaceae ラン科

Bletilla striata (Thunb.) Rchb.f. var. *striata* form. *gebina* (Lindl.) Ohwi シロバナシラン

シランの白花品種で，2008年6月6日に小豆島町二面を確認した。紅色花と白花の中間色の薄紅色の花も見られる。

Calanthe discolor Lindl. var. *discolor* form. *rosea* (Hatus.) Honda アカエビネ

Calanthe discolor Lindl. var. *discolor* form. *rufaurantiaca* (Iwata) Honda ダイダイエビネ

Calanthe discolor Lindl. var. *discolor* form. *viridialba* (Maxim.) Honda ヤブエビネ

エビネの花色の変異は大きく，香川県（1983）では細分しなかったが，米倉（2012）に掲載されている事から取り上げた。

Cephalanthera longifolia (L.) Fritsch. クゲヌマラン

西内道夫が土庄町大部で撮影した写真記録があるが，海岸開発により生育地が消滅した。

Chamaegastrodia sikokiana Makino et F.Maek. ヒメノヤガラ

西内道夫が2000年7月29日に三木町で確認した。筆者は、2007年7月31日に小豆島町神懸通星ヶ城山で採集した。稀である。

Cymbidium macrorhizon Lindl. マヤラン

橋本薫が2009年7月23日土庄町滝宮で確認した。他に、長尾町前山船石、小豆島町神懸通二見岩展望所・寒霞溪、財田町財田中で確認された。稀である。

Epipogium roseum (D. Don) Lindl. タシロラン

十一正雄が2006年7月16日に琴平町琴平山で、佐野清志が2014年7月12日に三豊市高瀬町上勝間眉山で確認した。稀である。

Gastrochilus matsuran (Makino) Schltr. マツラン

三谷(1995)が、観音寺市粟井町で記録した。

Gastrodia verrucosa Blume アキザキヤツシロラン (ヤツシロラン)

岡崎綾子が1995年12月4日に財田町財田上石野下で採集し、秋山敬典が2012年12月9日に多度津町奥白方で確認した。筆者は、2014年12月7日に綾川町西分梶羽上で採集し、標本は徳島県立博物館に寄贈した。他に、三谷(1995)が高松市、琴南町で記録した。稀である。

Goodyera foliosa (Lindl.) Benth. ex C.B. Clarke var. *laevis* Finet アケボノシユスラン

1999年12月5日に寒川町石田西野丹谷で採集した。県内に点々と分布しており、内海町嶮岨山、まんのう町川東・炭所東金剛院、財田町財田上等で採集・確認した。稀である。

Lecanorchis japonica Blume var. *japonica* ムヨウラン

三谷(1993b・1995)が、高松市西植田町、塩江町、琴平町で記録した。

Liparis japonica (Miq.) Maxim. セイタカスズムシソウ

佐藤明が2007年6月3日に高松市塩江町上西大滝山で確認した。稀である。

Platanthera sachalinensis F. Schmidt オオヤマサギソウ

平野闊が2007年7月16日にまんのう町中通大川山で確認した。また、嶋田友久が2013年7月17日に同所で採集した。証拠標本は、徳島県立博物館に寄贈した。稀である。

Taeniophyllum glandulosum Blume クモラン

林鈴以が2010年7月25日に琴南町中通下木戸で確認した。稀である。

Tipularia japonica Matsum. var. *japonica* ヒトツボクロ

西内道夫が2000年6月18日に琴南町川東笠形山で確認した。他に、内海町安田嶮岨山、三木町奥山大満地国有林、塩江町上西天満ヶ原・竜王山で採集・確認した。稀である。

Hypoxidaceae キンバイザサ科

Barnardia japonica (Thunb.) Schult. et Schult.f. var. *japonica* form. *albiflora* (Satake) Yonek. シロバナツルボ

ツルボの白花品種で、1993年9月5日に丸亀市牛島町で確認した。他に、土庄町、高松市、三豊市等で確認した。

Curculigo orchiooides Gaertn. キンバイザサ

三井脩が高松市栗林町栗林公園内の中の島で報告した。稀である。

Hypoxis aurea Lour. コキンバイザサ

秋山敬典が2002年5月6日に高松市亀水町五色台で確認した。稀である。

Asparagaceae キジカクシ科

Hosta kikutii F. Maek. var. *densinervia* N. Fujita et M.N. Tamura アワギボウシ

香川県(1983)でウナズキギボウシ *Hosta kikutii* var. *caput-avis* var. としていたものが、分類学的見直しでアワギボウシに変更された。2011年7月21日まんのう町勝浦真鈴で新たに確認した。他に、まんのう町七箇東山峠で確認した。讃岐山脈尾根筋近くで稀に見られる。

Ophiopogon jaburan (Siebold) Lodd. ノシラン

武川秀樹が2007年8月21日に小豆島町福田で確認した。他に、高松市屋島中町、善通寺市天霧山で確認された。稀である。

Typhaceae ガマ科

Sparganium japonicum Rothert ナガエミクリ

詳細は久米(2008a)で報告したが、その後綾川町、琴平町、善通寺市等で採集・確認した。

Sparganium subglobosum Morong ヒメミクリ

詳細は久米(2008a)で報告したが、その後高松市国分寺町国分台、まんのう町造田、高瀬町上麻岩瀬安養寺谷で採集・確認した。

Eriocaulaceae ホシクサ科

Eriocaulon japonicum Koern. ヤマトホシクサ

1983年10月2日に白鳥町白鳥「田高田池」で採集した。他に、白鳥町五名甫ヶ谷「石船池」、満濃町炭所東種子「足乗下池」で採集した。稀である。

Eriocaulon kiusianum Makino ツクシクロイヌノヒゲ(サイコククロイヌノヒゲ)

1985年10月4日にまんのう町炭所西塩田奥「下池」で採集した。他に、白鳥町、大内町、大川町、志度町、満濃町、仲南町、大野原町等の溜め池で採集した。少ない。なおサイコククロイヌノヒゲ var. *intermedium* 型の標本を、東かがわ市黒羽、白鳥町帰来、仲南町七箇の溜め池で採集した。

Eriocaulon miquelianum Koern. var. *miquelianum* イヌノヒゲ(シロイヌノヒゲ)

香川県(1983)ではシロイヌノヒゲ *Eriocaulon sikokianum* とイヌノヒゲ *Eriocaulon miquelianum* を区別して掲載したが、米倉(2012)では同種とされた。

Eriocaulon parvum Koern. クロホシクサ

1989年10月18日に白鳥町五名甫ヶ谷「石船池」で採集した。他に、満濃町炭所西江畑「御花池」で採集した。稀である。

Eriocaulon taquetii Lecomte ニッポンイヌノヒゲ(ホシザキイヌノヒゲ)

香川県(1983)ではホシザキイヌノヒゲ *Eriocaulon hondoense* form. *stellatum* を細分したが、米倉(2012)では統合された。

Juncaceae イグサ科

Juncus gracillimus (Buchenau) V.I.Krecz. et Gontsch. ドロイ

2002年8月17日に土庄町小江中之島で採集した。稀である。

Cyperaceae カヤツリグサ科

Bulbostylis densa (Wall.) Hand.-Mazz. var. *capitata* (Miq.) Ohwi イトテンツキ

秋山敬典が2014年2月2日に三木町嶽山で確認した。稀である。

Carex arenicola F.Schmidt クロカワズスゲ

三谷(1986・1993a)が1982年4月27日に直島町直島で記録した。

Carex autumnalis Ohwi オオナキリスゲ

三谷(1987)が小豆島で記録した。

Carex benkei Tak. Shimizu ベンケイヤワラスゲ

2012年5月21日に小豆島町蒲野三都で採集した。Shimizu(2009)が新種記載時に、香川県産標本として「Suribachidani, Takamatsu (Takamatu-shi, Miyawaki-cho), 4 Jul. 1935, Y. Ujike 66251 (TNS)」を掲載している。当該記載地の高松市宮脇町播鉢谷周辺を数回調査したが、生育を確認できていない。稀である。

Carex brunnea Thunb. コゴメスゲ

2009年11月18日に東かがわ市小海北谷上で採集した。他に、東かがわ市五名大曲で確認した。稀である。

Carex conicoides Honda ワタリスゲ

2009年5月26日に高松市塩江町安原上東大滝山で採集した。他に、高松市塩江町上西小出川で採集した。稀である。

Carex dickinsii Franch. et Sav. オニスゲ

1989年8月4日に綾上町山田上平見「久保池」で採集した。他に、長尾町多和楨川、琴南町造田上造田、満濃町吉野五毛で確認された。稀である。

Carex filipes Franch. et Sav. var. *tremula* (Ohwi) Ohwi ヒメジュズスゲ

三谷 (1986) が記録したが、産地が記述されておらず、産地不詳である。

Carex flabellata H.Lév. et Vaniot ヤマテキリスゲ

三谷 (1992) が1984年5月27日財田町財田上で記録し、他に仲南町で記録した。また、新居正敏がまんのう町吉野で報告し、筆者は東かがわ市、高松市、綾川町、三豊市等で確認した。少ない。

削除：*Carex formosensis* H.Lév. et Vaniot タイワンスゲ (オオミヤマカンスゲ)

香川県 (1983) では正宗・里見 (1963) を引用掲載したが、三谷 (1988) により次種のゲンカイモエギスゲであることが明らかにされたので、削除する。

Carex genkaiensis Ohwi ゲンカイモエギスゲ

2003年10月11日に土庄町馬越馬越岡で採集した。他に、土庄町小海嶮岨山・見目・肥土山銚子溪、小豆島町神懸通猪ノ谷で採集した。小豆島以外では見つかっておらず、稀である。

Carex heterolepis Bunge ヤマアゼスゲ

三谷 (1992) が1985年5月25日に白鳥町星越峠で記録した。

Carex insanae Koidz. var. *subdita* (Ohwi) Ohwi アオヒエスゲ

2009年5月26日に高松市塩江町安原上東大滝山で採集した。他に、三谷 (1993a) が大野原町雲辺寺山で記録した。稀である。

Carex ischnostachya Steud. var. *fastigiata* T.Koyama オキナワジュズスゲ

三谷 (1992) が1986年5月24日に高松市諏訪で記録した。

Carex kamagariensis K.Okamoto アキイトスゲ

2014年5月18日に善通寺市碑殿町天霧山で採集した (織田二郎同定)。稀である。

Carex lasiolepis Franch. アズマスゲ

2011年5月20日に高松市塩江町安原上東大滝北尾根で採集した。他に、三谷 (1992) が塩江町竜王山で記録した。稀である。

削除：ハタバスゲ *Carex latisquamea* Komarov

香川県 (1983) では正宗・里見 (1963) を引用掲載したが、勝山 (2005) によれば九州の一部と長野県以北が分布域とされており、確実な証拠が得られるまでは削除する。

Carex leucochlora Bunge var. *aphanandra* (Franch. et Sav.) T.Koyama メアオスゲ

2005年5月7日に琴南町勝浦影三角で採集した。東かがわ市から観音寺市まで広い範囲の採集・確認・報告がある。少ない。

Carex leucochlora Bunge var. *horikawae* (K.Okamoto) Katsuy. ミセンアオスゲ

香川県 (1983) では細分しなかったが、勝山 (2005) に従い分類した。和気俊郎が1972年4月23日に琴平町琴平山で採集した。東かがわ市から観音寺市まで広い範囲の採集・確認・報告がある。少ない。

Carex lonchophora Ohwi オオアオスゲ

新居正敏が2005年5月27日に丸亀市広島で報告した。

Carex maackii Maxim. ヤガミスゲ

2014年5月17日さぬき市昭和川東「鴨部川」で採集した (織田二郎同定)。勝山 (2005) によれば四国は国内分布から外れており、国内帰化の疑念は残るが、今回発見した生育地は鴨部川の岸縁や中洲で、近年発見された岡山県の生育環境に類似しており (星野・正木, 2002)、個体数が多いことから在来と判断

した。稀である。

Carex macrandrolepis H.Lév. カタスゲ

2007年5月22日に小豆島町田浦半島で採集した。他に、三谷(1991)が内海町寒霞溪で記録した。稀である。

Carex metallica H.Lév. フサスゲ(シラホスゲ)

三谷(1993a)が1981年5月7日に高松市屋島で記録した。

Carex multifolia Ohwi var. *pallidisquama* Ohwi
アオミヤマカンスゲ

香川県(1983)ではミヤマカンスゲ *Carex dolichostachya* subsp. *multifolia* を細分しなかったが、勝山(2005)に従い区別した。讃岐山脈沿いの山地部で普通に見られるのはこの型である。

Carex otaruensis Franch. var. *kadzuoana*
T.Koyama ミカワナルコ

三谷(1988)が観音寺市粟井町奥谷で記録した。

Carex phacota Spreng. ヒメゴウソ(アオゴウソ)

三谷(1993a)は、ヒメゴウソ var. *gracilispica* とホナガヒメゴウソ var. *phacota* を区別して、ホナガヒメゴウソの産地を満濃町吉野五毛、仲南町尾ノ瀬山と記録した。また新居正敏は、満濃町長尾でホナガヒメゴウソを報告した。しかし、米倉(2012)では細分していない。勝山(2005)は、両者を分けた場合には、学名や分布などの課題が多いとしている。

Carex rhizopoda Maxim. シラコスゲ

1978年4月30日財田町で採集した(岡本香同定)。他に、三谷(1993a)が内海町平間で記録した。稀である。

Carex rochebrunei Franch. et Sav. ヤブスゲ

2013年5月22日高松市塩江町上西小出川で採集した。稀である。

Carex sachalinensis F.Schmidt var. *rubrovaginata*
(J.Oda et Nagam.) Yonek. ベニイトスゲ(カンサイオオイトスゲ, シコクイトスゲ)

三谷(1993a)が1993年5月21日に琴南町三角で記録した。他に、香川県(1983)作成時に同定が確定せず保留された標本として、新居正敏が1980年3月30日に池田町浜条で、三谷進が1976年5月3日に琴平町琴平山で採集したものがある。

Carex sacrosancta Honda ジングウスゲ

三谷(1993a)が1981年9月6日に仲南町塩入で記録した。

Carex shimidzensis Franch. アズマナルコ(ミヤマナルコ)

新居正敏が1998年5月10日に塩江町安原下で報告し、他に財田町財田上で報告した。

Carex teinogyna Boott フサナキリスゲ

坂口清一が1971年10月17日塩江町大滝山で報告したが、確認できていない。

Carex thunbergii Steud. var. *thunbergii* アゼスゲ

三谷(1992)が1988年5月14日に長尾町多和で記録した。

Carex wahuensis C.A.Mey. var. *bongardii*
(Boott) Franch. et Sav. ヒゲスゲ

2001年8月2日に観音寺市股島で採集し、円上島で確認した。股島の記録は、浦上(1932)に既に記載されている。他に高松市屋島(吉田, 2007)の記録がある。稀である。
Cyperus × babae T.Koyama オニチャガヤツリ(オオチャガヤツリ)

チャガヤツリ *Cyperus amuricus* とカヤツリグサ *Cyperus microiria* の雑種とされるもので、三谷(1993a)が1986年9月14日に内海町平間で記録した。他に、坂口清一が1968年9月22日に高松市紫雲山で報告したが、確認できていない。

Cyperus × condensatus T.Koyama フサガヤツリ

チャガヤツリ *Cyperus amuricus* とコゴメガヤツリ *Cyperus iria* の雑種とされるもので、三谷(1993a)が1986年9月14日に内海町平間で記録した。

Cyperus haspan L. var. *microhaspan* Makino
ツルナシコアゼガヤツリ

新居正敏が2003年10月5日に大内町水主で報告した。

Cyperus × *mihashii* T.Koyama ヒラボガヤツリ

コゴメガヤツリ *Cyperus iria* とカヤツリグサ *Cyperus microiria* の雑種とされるもので、2011年8月4日に土庄町伊喜末で採集した。稀である。

Cyperus niigatensis Ohwi ニイガタガヤツリ

三谷(1992)が1983年9月5日に香川町「新池」で記録し、他に三木町「男井間池」で記録した。

Cyperus pacificus (Ohwi) Ohwi シロガヤツリ

2009年10月29日にまんのう町造田「備中地池」で採集した。他に、東かがわ市、さぬき市、三木町、高松市、丸亀市、観音寺市等で採集した。落水後の溜め池に見られ、群生する事がある。調査の進展により、稀ではない事がわかってきた。

Cyperus sanguinolentus Vahl カワラスガナ
(ナンゴクカワラスガナ)

香川県(1983)ではナンゴクカワラスガナ *Pycreus sanguinolentus* とカワラスガナ *Pycreus sanguinolentus* form. *nipponicus* を細分したが、米倉(2012)では統合された。

Cyperus serotinus Rottb. × *Cyperus pilosus* Vahl
ミズガヤツリ × オニガヤツリ

ミズガヤツリとオニガヤツリの雑種と推定されるもので、2014年12月7日に綾川町西分梶羽上の休耕田で採集した。当該植物は、密に叢生し、稈は1.3mと大型、匍枝がある事から多年草で、外形はミズガヤツリに類似している。柱頭が1個で稀に2岐しており、小花は全て不稔で結実していない。不稔果は2稜形で、中に3稜形の痕跡を持つものが少量混ざっている事と、鱗片の形態から、ミズガヤツリとオニガヤツリの雑種と同定した。

Eleocharis acutangula (Roxb.) Schult. ミスミイ

1990年10月14日に満濃町炭所西江畑「奥池」で採集した。稀である。

Eleocharis congesta D.Don form. *dolichochaeta* T.Koyama × *Eleocharis maximowiczii* Zinserl.
オオハリイ × エゾハリイ

オオハリイとエゾハリイの雑種と推定されるもので、三谷(1988)が香川町安原下で記録した。

Eleocharis dulcis (Burm.f.) Trin. ex Hensch.
イヌクログワイ (シログワイ)

2003年9月5日に土庄町豊島家浦神子ヶ浜後背湿地・ダツタガ鼻「砂取り池」で採集した。他に、新居正敏による善通寺市稲木町の報告がある。稀である。

Eleocharis pellucid J. et C.Presl × *Eleocharis maximowiczii* Zinserl. ハリイ × エゾハリイ

ハリイとエゾハリイの雑種と推定されるもので、三谷(1988)が坂出市青海町白峰で記録した。

Eleocharis wichurae Boeck. var. *wichurae* form. *petasata* (Maxim.) H.Hara ミツカドシカクイ

稈が3稜形になるシカクイの品種で、新居正敏が2009年8月25日に三豊市財田町財田中で報告した。

Eleocharis wichurae Boeck. var. *wichurae* form. *teres* (H.Hara) Ohwi イヌシカクイ

稈が円柱形になるシカクイの品種で、1985年9月1日に満濃町炭所西塩田奥で採集した。

Fimbristylis autumnalis (L.) Roem. et Schult.
ヒメヒラテンツキ

新居正敏が2003年10月5日大内町水主で報告した。

Fuirena ciliaris (L.) Roxb. クロタマガヤツリ

三谷(1992)が1983年10月21日に満濃町吉野「満濃池」で記録し、他に香川町「新池」で

記録した。

Machaerina rubiginosa (Sol. ex G.Forst.)
T.Koyama ネビキグサ

1990年7月14日に直島町直島京ノ山で採集した。他に、引田町引田塩屋、大内町水主「池ノ内池」、土庄町豊島、直島町荒神島で採集・確認した。直島や豊島では、湧水湿地に大きな群落を形成するが、他地域では稀である。

Rhynchospora brownii Roem. et Schult. トラノハナヒゲ

1998年10月3日に高瀬町上麻岩瀬安養寺谷で採集した。他に、志度町鴨部、内海町福田、直島町井島、丸亀市広島、綾歌町岡田上、財田町財田上、観音寺市粟井町等で採集・確認した。少ない。

Rhynchospora faberi C.B.Clarke form. *umemurae* (Makino) Ohwi et T.Koyama
ヒメイヌノハナヒゲ

刺針状花被片の小刺が上向きに付くイヌノハナヒゲの品種で、三谷(1988)が記録した。
Schoenoplectus gemmifer C.Sato, T.Maeda et Uchino ハタバカンガレイ

2010年10月28日にまんのう町長尾機の辻「山下出水」下流の用水路で採集した。稀である。

Schoenoplectus hotarui (Ohwi) Holub × *Schoenoplectus wallichii* (Nees) T.Koyama
ホタルイ × タイワンヤマイ

ホタルイとタイワンヤマイの雑種と推定されるもので、三谷(1993a)が1985年9月23日に満濃町「満濃池」で記録して、マンノウホタルイの和名を与えた。

Schoenoplectus ×igaensis (T.Koyama) Hayas. et H.Ohashi イガホタルイ

ホタルイ *Schoenoplectus hotarui* とヒメホタルイ *Schoenoplectus lineolatus* の雑種とされるもので、2008年9月27日にまんのう町五毛「満濃池」で採集した。他に、真木弥太郎が観音寺市粟井町坂瀬、大野原町五郷田野々で

採集した。稀である。

Schoenoplectus juncooides (Roxb.) Palla イヌホタルイ

2000年10月24日に三木町朝倉本村中で採集した。他に、財田町財田上・財田中、観音寺市流岡町等の報告がある。少ない。

Schoenoplectus lacustris (L.) Palla オオフトイ

香川県(1983)ではフトイ *Scirpus lacustris* subsp. *creber* としてオオフトイを区別しなかったが、米倉(2012)に掲載されている事から取り上げた。香川県に生育するものでは、同一の小穂の中に柱頭が2岐と3岐するものが混在して見られる。角野(2014)は、フトイ類の種内変異と分類学的取り扱いは今後の研究課題としている。柱頭の分岐数だけで区別する事に疑問があり、従来通りフトイ *Schoenoplectus tabernaemontani* (C.C.Gmel.) Palla を残した。

Schoenoplectus lineolatus (Franch. et Sav.) T.Koyama × *Schoenoplectus wallichii* (Nees) T.Koyama
ヒメホタルイ × タイワンヤマイ

ヒメホタルイとタイワンヤマイの雑種と推定されるもので、三谷(1986・1992)が1983年10月21日に満濃町吉野「満濃池」で記録して、サヌキホタルイの和名を与えた。

Schoenoplectus mucronatus (L.) Palla var. *mucronatus* ヒメカンガレイ

2003年7月31日に財田町財田中一階で採集した。他に、坂出市青海町白峰「小池」、綾歌町岡田上綾歌町森林公園、財田町財田上若狭湿地で採集した。また、三谷(1992)が香南町岡、山本町菅谷で記録した。稀である。

Schoenoplectus nipponicus (Makino) Soják シズイ

1989年8月4日に満濃町炭所西塩田奥「下池」で採集した。他に、坂出市神谷町「菖蒲池」、満濃町吉野龍頭「逆様池」で採集した。稀である。

Schoenoplectus × oguraensis (T.Koyama)

Hayas. et H.Ohaswhi オグライ (オグラカンガレイ)

カンガレイ *Schoenoplectus triangulates* とタイワンヤマイ *Schoenoplectus wallichii* の雑種とされるもので、三谷 (1992) が1985年9月23日に満濃町吉野「満濃池」で記録した。

Schoenoplectus × *traperzoideus* (Koidz.) Hayas. et H.Ohashi シカクホタルイ (サンカクホタルイ)

米倉 (2012) は、サンカクホタルイをイヌホタルイ *Schoenoplectus juncooides* とカンガレイ *Schoenoplectus triangulates* の雑種としてシカクホタルイに含めている。角野 (2014) は、サンカクホタルイは、カンガレイ *Schoenoplectus triangulates* とホタルイ *Schoenoplectus hotarui* の雑種で、両親種の組合せで別の分類群として扱うべきとしている。大平 (1999) は、満濃町塩田奥で記録したが、和名をサンカクホタルイ (シカクホタルイ) とし、学名を *Schoenoplectus* × *traperzoideus* と表記している。植物体の特徴が記載されていないことから、両親種を判定できない。

Scirpus wichurae Bock. var. *wichurae* form. *wichurae* アイバソウ

小穂が全て単生するアブラガヤの品種で、2015年1月5日に綾川町粉所東上柏原未子所谷で確認した。他に、まんのう町、三豊市、観音寺市等で確認した。

Scleria rugosa R.Br. var. *rugosa* ケシンジュガヤ

1991年8月17日に満濃町吉野龍頭で採集した。他に、小豆島町福田丹波川谷、土庄町湖崎大谷、綾歌町栗熊西城山で採集した。県内の湧水湿地で稀に見られる。

Scleria rugosa R.Br. var. *onoei* (Franch. et Sav.) Yonek. マネキシンジユガヤ

稈や葉に毛の無いケシンジュガヤの変種で、2003年11月15日にさぬき市鴨部田中で採集した。県内の湧水湿地で稀に見られる。

Poaceae イネ科

Agrostis valvata Steud. ヒメコヌカグサ

2005年7月24日に財田町財田上若狭湿地で採集した。他に、まんのう町吉野龍頭国営讃岐まんのう公園「逆様池」下流湿地で確認した。稀である。

Arundinella hirta (Thunb.) Tanaka var. *hirta* ケトダシバ

Arundinella hirta (Thunb.) Tanaka var. *ciliata* (Thunb.) Koidz. ウスゲトダシバ (トダシバ)

香川県 (1983) では毛の細分は行わなかったが、米倉 (2012) に掲載されている事から取り上げた。香川県では、有毛型が普通に見られ、薄毛型は少ない。

Coelachne japonica Hack. ヒナザサ

1985年10月4日に満濃町炭所西塩田奥で採集した。稀である。

Echinochloa crus-galli (L.) P.Beauv. var. *formosensis* Ohwi ヒメタイヌビエ

Echinochloa crus-galli (L.) P.Beauv. var. *praticola* Ohwi ヒメタイヌビエ

香川県 (1983) では細分しなかったが、長田 (1989) に従って区別した。最近ヒメタイヌビエ型のものが増加しており、移入・帰化が疑われる。

Eragrostis aquatica Honda スマカゼクサ

1972年9月1日に観音寺市粟井町奥谷「新池」で採集した。他に、東かがわ市、さぬき市、小豆島町、高松市、坂出市、綾川町、まんのう町等で採集・確認した。山際の溜め池で、落水後の汀線付近に帯状に群生する事があるが、全県的には少ない。

削除: *Eragrostis cumingii* Steudel イトスズメガヤ

香川県 (1983) でイトスズメガヤとしたものは、前種のスマカゼクサの誤同定であり削除する。

Eulalia quadrinervis (Hack.) Kuntze ウンスケモドキ

2007年9月24日に東かがわ市引田原で採集した。他に、香川町川内原西原「コモガヤ下池」、高瀬町上麻馬嶽「ニゴリ池」、山本町神田岩瀬で採集した。稀である。

Eulalia speciosa (Debeaux) Kuntze ウンスケ

2003年12月28日に満濃町長尾上王地「蘭東上池」・「法善寺上池」で採集した。他に、綾川町西分西角ケ内大小屋、まんのう町造田・炭所西江畑「上所池」・十郷平畑「砂だめ池」、財田町財田上灰倉・戸川「新池」、三豊市財田町財田上甲ノ原・高瀬町佐股本村東「新池池」・山本町神田山才、観音寺市粟井町奥谷「坂瀬池」で採集した。少ない。

Festuca ovina L. subsp. *coreana* (St.Yves) E.B.Alexeev アオウシノケグサ

2002年10月31日に土庄町大部嶮岨山で確認した。小豆島では稀ではないが、東かがわ市、高松市、坂出市等の海岸沿い山地の乾燥草地に稀に生育している。

Glyceria × *tokitana* Masumura マンゴクドジョウツナギ

ドジョウツナギ *Glyceria ischyroneura* とヒロハノドジョウツナギ *Glyceria leptolepis* の雑種とされるもので、2014年6月1日さぬき市昭和川東出水・鴨部川、2014年7月6日さぬき市鴨部成山湿地で採集した。標本は徳島県立博物館に寄贈した。他に、三谷 (1995) が高松市今里町で記録した。少ない。

Hemarthria compressa (L.f.) R.Br. コバノウシノシッペイ

三谷 (1995) が記録したが、産地が記述されておらず、産地不詳である。

Hystrix duthiei (Stapf) Bor subsp. *longearista* (Hack.) Boden, Fred. et Seberg アズマガヤ

三谷 (1995) が記録したが、産地が記述されておらず、産地不詳である。

Leersia oryzoides (L.) Sw. エゾノサヤヌカクサ

サヤヌカクサ *Leersia sayanuka* と両型見られ

るが、長田 (1989) に従い小穂の形質で区別した。2009年10月29日にまんのう町造田「備中地池」で採集した。少ない。

Melica onoei Franch. et Sav. var. *onoei* ミチシバ

2012年12月6日に高松市屋島東町で採集した。他に、三谷 (1995) が琴南町、満濃町で記録した。屋島ではまとまった個体数が見られるが、全体的には稀である。

Microstegium vimineum (Trin.) A.Camus アシボソ

ヒメアシボソ form. *willdenowianum* と両型見られ、香川県 (1983) ではヒメアシボソ *Eulalia viminea* に含めていたが、米倉 (2012) に掲載されている事から取り上げた。

Miscanthus sinensis Andersson form. *gracillimus* (Hitc.) Ohwi イトススキ

香川県 (1983) では細分しなかったが、米倉 (2012) に掲載されている事から取り上げた。高松市屋島の報告がある。

Oplismenus undulatifolius (Ard.) Roem. et Schult. var. *undulatifolius* ケチヂミザサ

Oplismenus undulatifolius (Ard.) Roem. et Schult. var. *japonicus* (Steud.) Koidz. コチヂミザサ

香川県 (1983) ではチヂミザサ *Oplismenus undulatifolius* form. *japonicus* として細分しなかったが、米倉 (2012) に掲載されている事から取り上げた。毛の状態は変異が大きい。

Poa hisauchii Honda ヤمامゾイチゴツナギ

新居正敏が2008年5月4日に坂出市高屋町で報告した。筆者は、2013年5月8日にまんのう町川東雨島で採集した。現在のところ稀であるが、調査が進めば産地は増加すると思われる。

Stipa pekinensis Hance ハネガヤ

2012年10月11日に高松市屋島山頂近くの岩棚で採集したもので、四国初記録 (茨木他, 2013) である。高松市屋島東町・屋島中町・屋島西町にかけて生育しており、個体数は

100株以上と比較的多い。証拠標本は、徳島県立博物館に寄贈した。稀である。

(Bambusoideae* タケ亜科)

筆者がタケ・ササ類の分類基準としている鈴木(1996)は、タケ科を使用している。一方米倉(2012)ではイネ科として扱われている。ここでは折衷的にイネ科タケ亜科としてとりまとめた。

Pleioblastus kodzuma Makino キボウシノ

久米(1992)で報告したが、その後、土庄町豊島、高松市屋島・庵治町大島等で採集・確認した。

Pleioblastus kongosanensis Makino var. *kongosanensis* form. *akidensis* (Makino et Nakai) S.Suzuki アキバザサ

詳細は久米(1992)で報告した。

Pleioblastus nagashima (Mitford) Nakai var. *nagashima* ヒロウザサ

久米(1992)で報告したが、その後、高松市庵治町大島、坂出市瀬居島、綾川町西分上梶羽、まんのう町七箇香川県満濃森林公園等で確認した。

Pleioblastus nagashima (Mitford) Nakai var. *nagashima* form. *yasuokensis* (Nakai) S.Suzuki ヤスオカザサ

久米(1992)で報告したが、その後、まんのう町七箇香川県満濃池森林公園で確認した。

Sasa borealis (Hack.) Makino et Shibata var. *angustior* (Makino) S.Suzuki ホソバズダケ

詳細は久米(1992)で報告した。

Sasa elegantissima Koidz. タンガザサ

詳細は久米(1992)で報告した。

Sasa hayatae Makino var. *hirtella* (Nakai) Sad. Suzuki シココザサ

詳細は久米(1992)で報告した。三谷(1986)がミヤマクマザサ *Sasa hayatae* var. *hayatae* を塩江町岩部、塩江町北井で記録し

たが、本変種の事と思われる。

Sasa kagamiana Makino et Uchida subsp. *yoshinoi* (Koidz.) Sad. Suzuki アリマコスズ

久米(1992)で報告したが、その後、さぬき市前山太郎兵衛で採集した。

Sasa maculate Nakai var. *maculate* マキヤマザサ (ヒダノミヤマクマザサ)

三谷(1986)がヒダノミヤマクマザサとして塩江町安原下で記録した。

Sasa magunifica (Nakai) Sad. Suzuki subsp. *fujitae* Sad. Suzuki セトウチコスズ

三谷(1986)が内海町寒霞溪、綾上町柏原溪谷で記録した。

Sasa oshidensis Makino et Uchida subsp. *glabra* (Koidz.) Sad. Suzuki ケナシカシダザサ

久米(1992)で報告したが、その後、まんのう町川東雨島で採集した。

Sasa pubiculmis Makino subsp. *sugimotoi* (Nakai) Sad. Suzuki ミカワザサ

久米(1992)で報告したが、その後、三木町奥山大相山で採集した。

Sasa shimidzuana Makino subsp. *kashidensis* (Makino ex Koidz.) Sad. Suzuki カシダザサ

詳細は久米(1992)で報告した。

Sasa shimidzuana Makino subsp. *shimidzuana* ハコネナンプスズ

2011年4月12日に三木町奥山堂ヶ平で採集した。稀である。

Sasa stenophylla Koidz. subsp. *stenophylla* サイヨウザサ

詳細は久米(1992)で報告した。

Sasa takizawana Makino et Uchida subsp. *takizawana* タキザワザサ

2014年8月1日に三木町小菘下所で採集した。他に、三谷(1986)が長尾町竹屋敷で記録した。稀である。

Sasa takizawana Makino et Uchida subsp.

nakashimana (Koidz.) Sad. Suzuki キリシマザサ

久米 (1992) で報告したが、その後、丸亀市広島王頭山で採集した。

Sasa tsuboiana Makino var. *tsuboiana* イブキザサ

三谷 (1986) が池田町中山で記録した。

Sasa tsukubensis Nakai subsp. *pubifolia* (Koidz.) Sad. Suzuki イナコスズ

詳細は久米 (1992) で報告した。

Sasa sikokiana Koidz. ケスズダケ (ケスズ)

詳細は久米 (1992) で報告した。

Geratophyllaceae マツモ科

Ceratophyllum platyacanthum Cham. subsp. *oryzeterum* (Kom.) Les ヨツバリキンギョモ (ゴハリマツモ)

1995年9月8日に三木町井上四角寺「辻池」で採集した。他に、大内町、牟礼町、丸亀市、多度津町等で採集したが、少ない。果実がついていないとマツモ *Ceratophyllum demersum* と区別し難く、果実の無いものはマツモに分類されている。詳細に調査すれば産地は増加すると予想される。

EUDICOTS 真正双子葉植物

Papaveraceae ケシ科

Corydalis decumbens (Thunb.) Pers. form. *albescens* (Takeda) Ohwi ex S.Akiyama シロバナジロボウエンゴサク

ジロボウエンゴサクの白花品種で、2013年4月1日に高松市屋島西町浦生谷で確認した。

Corydalis lineariloba Siebold et Zucc. var. *capillaris* (Makino) Ohwi ヒメエンゴサク
三谷 (1995) が大野原町で記録した。

Berberidaceae メギ科

Caulophyllum robustum Maxim. ルイヨウボタン
西内道夫が1997年5月15日に琴南町で確認

した。稀である。

Ranunculaceae キンポウゲ科

Actaea asiatica H.Hara ルイヨウショウマ

2001年5月13日に琴南町勝浦竜王山で確認した。稀である。

Anemone flaccida F.Schmidt var. *flaccid* form. *rosea* Hayashi ウスベニニンソウ

萼片の裏面が薄紅色になるニンソウの品種で、香川県 (1981) では細分しなかったが、米倉 (2012) に掲載されている事から取り上げた。

Cimicifuga japonica (Thunb.) Spreng. var. *macrophylla* (Koidz.) H.Hara オオバショウマ

2003年8月23日に琴南町勝浦竜王山で採集した。他に、高松市塩江町竜王山で確認した。稀である。

Cimicifuga simplex (DC.) Wormsk. ex Turcz. var. *simplex* サラシナショウマ

2002年9月28日に大野原町雲辺寺山で、2014年5月2日に高松市塩江町竜王山で採集した。他に、まんのう町造田平川で確認された。稀である。

Dichocarpum trachyspermum (Maxim.) W.T.Wang et P.K.Haiao トウゴクサバノオ

1996年5月6日に琴南町中通大川山で採集した。他に、高松市塩江町大滝山・竜王山で採集した。稀である。

Dichocarpum univalve (Ohwi) Tamura et Lauener サイコクサバノオ

1988年5月1日に仲南町塩入東山峠で採集した。他に、高松市塩江町大滝山・竜王山、琴南町大川山で採集した。稀である。

Ranunculus cantoniensis DC. ケキツネノボタン

香川県 (1981) ではキツネノボタン *Ranunculus quelpaertensis* の多毛型と解釈されていたが、誤りとわかり訂正した。2000年5月3日に香川町川内原川添で採集した。他に、高松市屋島、綾上町等で採集・確認した。

少ない。

Ranunculus silerifolius H.Lév. var. *silerifolius*
ヤマキツネノボタン

Ranunculus silerifolius H.Lév. var. *glaber*
(H.Boissieu) Tamura キツネノボタン

香川県 (1981) ではキツネノボタンを細分
せず *Ranunculus quepaertensis* としたが、米
倉 (2012) に掲載されている事から取り上げ
た。香川県では、茎が少~無毛型のキツネノ
ボタンと、茎に斜上毛の多いヤマキツネノボ
タンが同程度見られる。

Sabiaceae アワブキ科

Meliosma rigida Siebold et Zucc. ヤマビワ

三谷 (1988) が記録したが、産地が記述さ
れておらず、産地不詳である。

Buxaceae ツゲ科

Buxus microphylla Siebold et Zucc. subsp. var.
microphylla var. *japonica* (Müell. Arg. ex
Miq.) Rehder et E.H. Wilson ツゲ

1987年1月8日に池田町中山嶮山で採集
した。当該産地では、低木であるが個体数は
多い。林業家の石原力の談によると、土庄町
嶮山にも見られたが、伐採採取により無く
なったと言う。全県的には稀である。

Hamamelidaceae マンサク科

Corylopsis gotoana Makino var. *gotoana* コ
ウヤミズキ

三谷 (1990・1995) が綾上町で記録した。

Cercidiphyllaceae カツラ科

Cercidiphyllum japonicum Siebold et Zucc.
カツラ

西内道夫が1998年9月12日に琴南町造田大
川山で報告した。筆者は、東かがわ市西山兼
弘、内海町神懸通嶮山、三木町奥山堂ケ
平、塩江町安原上東下所西、まんのう町塩入
東塩入で採集・確認した。稀である。

Daphniphyllaceae ユズリハ科

Daphniphyllum macropodum Miq. subsp.
macropodum form. *viridipes* (Nakai) Ohwi
アオジクユズリハ

葉柄が緑色のユズリハの品種で、香川県
(1981) では細分しなかったが、米倉 (2012)
に掲載されている事から取り上げた。

Saxifragaceae ユキノシタ科

Chrysosplenium tosaense (Makino) Makino
ex Sutô タチネコノメソウ

新居正敏が1999年4月7日琴南町造田大川
山で報告し、三谷 (1993b) が長尾町で記録
した。筆者は、2013年5月2日にまんのう町
川東雨島で採集した。稀である。

Crassulaceae ベンケイソウ科

Hylotelephium verticillatum (L.) H. Ohba var.
verticillatum ミツバベンケイソウ

1987年10月10日に坂出市王越町東分五色台
で採集した。他に、佐藤明が2012年5月8日
に高松市屋島東町屋島南嶺で採集した。讃岐
岩質安山岩の地域に分布しており、小豆島
町、土庄町、善通寺市等で採集・確認した。
少ない。

Hylotelephium verticillatum (L.) H. Ohba var.
lithophilos H. Ohba ショウドシマベンケイソ
ウ

小豆島寒霞溪産の標本をタイプとして、
1991年にミツバベンケイソウの変種として記
載された。株立ちで、花が正開せず、葉柄が
あり、葉腋に胎芽をつける事等が特徴とされ
る。これらの形質は連続的であり、区別する
事に疑問を感じるが、米倉 (2012) に掲載さ
れている事から取り上げた。本変種を認めれ
ば、香川県内のもは全てこの型に該当す
る。

Sedum polytrichoides Hemsl. subsp. *yabeanum*
(Makino) H. Ohba var. *setouchiense* (Murata
et Yuasa) H. Ohba × *Sedum makinoides* Maxim.

var. *makinoi* セトウチマンネングサ×マルバマンネングサ

セトウチマンネングサとマルバマンネングサの雑種と推定される形態をしており、2008年12月16日に土庄町笠ヶ滝不動山で採集した。三谷(1993b)は、カンカケマンネングサの和名を与えたが、寒霞溪だけでなく、小豆島のセトウチマンネングサ分布域で稀に見られる。

Sedum subtile Miq. ヒメレンゲ

三谷(1993b)が記録したが、産地が記述されておらず、産地不詳である。

Haloragaceae アリノトウグサ科

Myriophyllum oguraense Miki オグラノフサモ

詳細は久米(1998)で報告したが、その後、大川町南川一ノ瀬「浦谷上池」、高松市鬼無町山口、綾上町西分境場「前池」・「小池」で採集した。稀である。

Myriophyllum ussuriense (Regel) Maxim. タチモ

詳細は久米(1998)で報告したが、その後、引田町小海黒谷、白鳥町入野山正守「下池」、東かがわ市引田大安戸「新池」・帰来法月「大正池」、大内町水主修験造・大社「下熊池」・「原池」、さぬき市津田町津田南羽立「本谷下池」・鴨部六番で採集した。他に、三谷(1995)が綾南町で記録した。少ない。

Vitaceae ブドウ科

Ampelopsis cantoniensis (Hook. et Arn.) Planch. var. *leeoides* (Maxim.) F.Y.Lu ウドカズラ

1999年5月21日に引田町川股下所で採集した。他に、川股荒倉谷で確認した。川股地区には群生している箇所がある。全県的には稀である。

Fabaceae マメ科

Hylodesmum oldhamii (Oliv.) H.Ohashi et R.R.Mill フジカンゾウ

香川県(1981)で脱落していたもので、追補した。真木弥太郎が1967年9月15日に大野原町五郷曼陀峠で採集した。他に、高松市、まんのう町等の山地部で確認した。少ない。

Hylodesmum podocarpum (DC.) H.Ohashi et R.R.Mill subsp. *oxyphyllum* (DC.) H.Ohashi et R.R.Mill var. *japonicum* (Miq.) H.Ohashi form. *albiflorum* (Iwata) H.Ohashi シロバナヌスビトハギ

ヌスビトハギの白花品種で、香川県(1981)では細分しなかったが、米倉(2012)に掲載されている事から取り上げた。

Lespedeza buergeri Miq. form. *angustifolia* Makino タチゲキハギ

開出毛の多いキハギの品種で、香川県(1981)では細分しなかったが、米倉(2012)に掲載されている事から取り上げた。

Lespedeza buergeri Miq. form. *oldhamii* (Miq.) Sugimoto* マルバキハギ

キハギの広葉型品種で、2012年7月25日に高松市屋島東町檀浦で採集した。米倉(2012)に掲載されていないが、上記品種との整合性で取り上げた。

Lespedeza × *intermixta* Makino ツルメドハギ

ネコハギ *Lespedeza pilosa* var. *pilosa* とメドハギ *Lespedeza cuneata* var. *cuneata* の雑種とされるもので、和気俊郎が1984年6月16日に高松市屋島西町の埋立造成地で報告した。他に、丸亀市蓬莱町の報告がある。

Lespedeza × *macrovirgata* Kitag. オオマキエハギ

イヌハギ *Lespedeza tomentosa* とマキエハギ *Lespedeza virgata* の雑種とされるもので、坂口清一が1980年7月6日に坂出市五色台で報告したが、確認できていない。

Lespedeza pilosa (Thunb.) Siebld et Zucc. var. *pilosa* form. *virginea* H.Ohashi シロバ

ナネコハギ

ネコハギの白花品種で、香川県（1981）では花色を細分しなかったが、米倉（2012）に掲載されている事から取り上げた。

Lotus corniculatus L. var. *japonicus* Regel
form. *hirtella* Nakai ケガクミヤコグサ

ミヤコグサの萼筒と萼歯に長毛が疎生する品種で、香川県（1981）では細分しなかったが、米倉（2012）に掲載されている事から取り上げた。

Maackia amurensis Rupr. et Maxim. イヌエンジュ（ハネミイヌエンジュ、ケハネミイヌエンジュ）

香川県（1981）ではハネミイヌエンジュ *Maackia floribunda* とケハネミイヌエンジュ *Maackia floribunda* form. *pubescens* を掲載したが、米倉（2012）ではイヌエンジュに統合された。

Wisteria floribunda (Willd.) DC. form. *alba* (Carrière) Rehder et E.H.Wilson シロバナフジ

フジの白花品種で、三木町奥山で確認した。

Rosaceae バラ科

Aria alnifolia (Siebold et Zucc.) Decne. アズキナシ

2008年6月1日に丸亀市本島町屋釜で採集した。他に、土庄町伊喜末小島八幡神社・小豊島、坂出市瀬居島で採集した。また土庄町豊島の報告がある。稀である。

Cerasus jamasakura (Siebold ex Koidz.) H.Ohba var. *jamasakura* ヤマザクラ

香川県（1981）ではナガバヤマザクラ *Prunus jamasakura* var. *superflua* を区別して掲載したが、米倉（2012）には掲載されていない。

Cerasus × *mochizukiana* (Nakai) H.Ohba モチヅキザクラ

ヤマザクラ *Cerasus jamasakura* var. *jamasakura*

とエドヒガン *Cerasus spachiana* var. *spachiana* form. *ascendens* の雑種とされるもので、五所野尾優がまんのう町、三豊市財田町・山本町等で報告した。稀である。

Laurocerasus zippeliana (Miq.) Browicz バクチノキ（ウラゲバクチノキ）

香川県（1981）ではウラゲバクチノキ *Prunus zippeliana* var. *infra-velutina* を掲載したが、米倉（2012）では統合された。かつて県内の自然分布を疑問視されていたが、2002年3月16日に高松市大槌島で自然の群落を発見した。他に、さぬき市大川町富田東向井、土庄町屋形崎・見目空地で自然分布のものを採集した。稀である。

Potentilla × *masakii* Naruh. テリハキジムシロ
テリハキンバイ *Potentilla riparia* とキジムシロ *Potentilla fragarioides* var. *major* の雑種とされるもので、1986年7月16日に塩江町安原上東柞野で採集した（鳴橋直弘同定）。稀である。

Potentilla riparia Murata テリハキンバイ

小豆島等の岩場ではコテリハキンバイ var. *miyajimensis* 型のものを見かけるが、変異は連続的である。米倉（2012）に掲載されているが、ここでは区別していない。

Pourthiaea villosa (Thunb.) Decne. var. *villosa* カマツカ（ワタゲカマツカ、ケカマツカ）

香川県（1981）ではワタゲカマツカ *Pourthiaea villosa* とカマツカ *Pourthiaea villosa* var. *laevis* 及びケカマツカ *Pourthiaea villosa* var. *zollingeri* を区別したが、米倉（2012）では統合された。

Rubus × *medius* Kuntze ヒメカジイチゴ

ニガイチゴ *Rubus microphyllus* とカジイチゴ *Rubus trifidus* の雑種とされるもので、2014年5月28日に高松市庵治町大島で採集した。稀である。

Rubus × *nigakuma* Oka et Naruh. ニガクマイチゴ

クマイチゴ *Rubus crataegifolius* とニガイチゴ *Rubus microphyllus* の雑種とされるもので、1982年6月27日に綾上町粉所東上柏原龍頭で採集した。他に、高松市、まんのう町、三豊市、観音寺市等で採集・確認した。稀である。
Rubus × *nikaii* Ohwi アイノコキイチゴ

ナワシロイチゴ *Rubus parvifolius* とエビガライチゴ *Rubus phoenicolasius* の雑種とされるもので、1982年5月30日に内海町寒霞溪紅雲亭で採集した。稀である。

Rubus × *okae* Momiy. スオーイチゴ

クサイチゴ *Rubus hirsutus* とヒメバライチゴ *Rubus minusculus* の雑種とされるもので、1988年5月8日に大野原町雲辺寺山で採集した。他に、高松市塩江町安原上東下所西で確認した。稀である。

Sanguisorba × *psoidoofficinalis* Naruh. ワレモコウモドキ

ワレモコウ *Sanguisorba officinalis* とナガボノワレモコウ *Sanguisorba tenuifolia* var. *tenuifolia* の雑種とされるもので、白川尚代が1992年9月27日に満濃町炭所西江畑で採集した(鳴橋直弘同定)。筆者は、1992年9月27日に綾歌町栗熊西城山で採集した(鳴橋直弘同定)。稀である。

Sanguisorba tenuifolia Fisch. ex Link var. *tenuifolia* ナガボノワレモコウ(コバナノワレモコウ)

香川県(1981)ではコバナノワレモコウ *Sanguisorba tenuifolia* var. *parviflora* としたが、鳴橋・岩坪(2010)の見解に従いナガボノワレモコウに統合した。

Sanguisorba officinalis L. form. *pilosella* (Ohwi) H.Hara ウラゲワレモコウ

ワレモコウの葉裏に毛がある品種で、三谷(1990)が坂出市城山で記録した。

Elaeagnaceae グミ科

Elaeagnus × *reflexa* C.Morren et Decne. マルバツルグミ

ツルグミ *Elaeagnus glabra* var. *glabra* とナワシログミ *Elaeagnus pungens* の雑種とされるもので、1989年3月15日に塩江町安原下中村で採集した。他に、東かがわ市、さぬき市、高松市、綾川町、まんのう町、三豊市等で採集・確認した。両種の生育する場所では、注意すれば時に見られる。

Elaeagnus × *submacrophylla* Servett. オオナワシログミ

オオバグミ *Elaeagnus macrophylla* とナワシログミ *Elaeagnus pungens* の雑種とされるもので、1987年5月20日に池田町蒲野沖田で採集した。他に、池田町神浦富士段山、土庄町豊島家浦堀切、高松市庵治町大島等で採集・確認した。稀である。

Rhamnaceae クロウメモドキ科

Berchemia magna (Makino) Koidz. オオクマヤナギ(ケオオクマヤナギ)

香川県(1981)ではケオオクマヤナギ *Berchemia racemosa* var. *magna* form. *pubescens* を掲載したが、米倉(2012)では統合された。

Ulmaceae ニレ科

Zelkova serrata (Thunb.) Makino form. *stipulacea* (Makino) Koji Ito, comb. nud. メゲヤキ

葉裏に細毛が密生するケヤキの品種で、2014年8月3日に高松市塩江町安原上東塩谷で採集した。証拠標本は、徳島県立博物館に寄贈した。

Moraceae クワ科

Morus cathayana Hemsl. ケグワ

大久保和子が2000年4月23日に高松市女木島で採集した。他に、綾南町の報告がある。稀である。

Urticaceae イラクサ科

Boehmeria kiusiana Satake ツクシヤブマオ

(ケナガヤブマオ)

ツクシヤブマオは、三谷 (1993b) が小豆島で記録した。また、三谷 (1988) によるケナガヤブマオ *Boehmeria hirtrlla* の産地不詳の記録があるが、米倉 (2012) ではツクシヤブマオに統合された。

Boehmeria platanifolia (Maxim.) Franch. et Sav. ex C.H.Wright メヤブマオ

香川県 (1981) ではオオメヤブマオ *Boehmeria maximowiczii* を掲載したが、米倉 (2012) では掲載されていない。メヤブマオに含めているものと推定される。

Pilea angulata (Blume) Blume subsp. *petiolaris* (Siebold et Zucc.) C.J.Chen ミヤマミズ

2003年12月7日にさぬき市前山船石で採集した。他に、高松市、まんのう町等の山地谷筋で採集・確認した。少ない。

Fagaceae ブナ科

Castanopsis cuspidate × *Castanopsis sieboldii*
ニタリジイ

ツブラジイとスタジイの雑種とされるもので、堅果の大きさは連続的であり区別は困難である。香川県 (1981) では細分しなかったが、米倉 (2012) に掲載されている事から取り上げた。

Quercus aliena × *Quercus acutissima* ナラガシワ × クヌギ

ナラガシワとクヌギの雑種と推定されるもので、葉や樹皮の形質が両種の間中間的な形態をしている。2010年12月5日に綾川町東分長柄で確認した。稀である。

Quercus aliena × *Quercus variabilis* ナラガシワ × アベマキ

ナラガシワとアベマキの雑種と推定されるもので、葉の形質が両種の間中間的な形態をしている。2008年12月7日に高松市西植田町で確認した。稀である。

Quercus × *crispuloserrata* (Sugim.) M.Kikuchi

ミズコナラ

ミズナラ *Quercus crispula* var. *crispula* とコナラ *Quercus serrata* subsp. *serrata* var. *serrata* の雑種とされるもので、2001年5月11日に琴南町勝浦竜王山で確認した。高松市塩江町大滝山からまんのう町竜王山にかけての讃岐山脈頂上部に見られ、ミズナラよりも多く、雑種化が進んでいる。稀である。

Quercus × *major* Nakai オオバコナラ

ナラガシワ *Quercus aliena* とコナラ *Quercus serrata* subsp. *serrata* var. *serrata* の雑種とされるもので、葉や樹皮の形質が両種の間中間的な形態をしている。2011年12月4日に綾川町粉所西峯ケ内で確認した。他に、高松市屋島、綾川町西分、三豊市山本町神田等で確認した。稀である。

Quercus phillyraeoides A.Gray form. *wrightii* (Nakai) Makino ケウバメガシ

ウバメガシの葉裏に褐色鱗毛のある品種で、香川県 (1981) では細分しなかったが、米倉 (2012) に掲載されている事から取り上げた。小豆島、高松市屋島、丸亀市本島、詫間町大浜錦根等の報告がある。

Juglandaceae クルミ科

Pterocarya rhoifolia Siebold et Zucc. サワグルミ

和気俊郎が1994年6月19日に琴南町大川山で報告した。他に三木町奥山大相山、高松市塩江町上西大滝山、まんのう町勝浦竜王山、仲南町塩入柞多尾国有林等で確認した。少ない。

Betulaceae カバノキ科

削除：サワシバ *Carpinus cordata* Blume

香川県 (1981) では標本を根拠に掲載したが、その後当該標本を再検討したところ、クマシデ *Carpinus japonica* var. *japonica* の誤認である事が判明したので、削除する

Celastraceae ニシキギ科

Euonymus alatus (Thunb.) Siebold var. *rotundatus* H.Hara オオコマユミ

三谷 (1995) が記録したが、産地が記述されておらず、産地不詳である。他に、高松市大槌島の古い記録がある (浦上, 1932)。

Euonymus hamiltonianus Wall. subsp. *sieboldianus* (Blume) H.Hara var. *sanguineus* (Nakai) H.Hara カントウマユミ (ユモトマユミ)

葉裏脈上に毛がある変種で、2014年10月25日坂出市青海町白峰「白峰小池」縁の湿地、2014年11月16日三豊市三野町大見久保谷黒戸山山麓で採集した。県内に点在しているが、毛の状態は多形である。

Oxalidaceae カタバミ科

Oxalis stricta L. エゾタチカタバミ

2001年6月24日に琴南町造田柞野で採集した。他に、三豊市、観音寺市等で採集・確認した。少ない。

Euphorbiaceae トウダイグサ科

Euphorbia ebracteolata Hayata マルミノウルシ

佐藤明が2012年3月12日に高松市屋島で発見した。個体数が少なく、稀である。2013年3月26日に採集した標本は、福島大学と徳島県立博物館に寄贈した。

Euphorbia humifusa Willd. ex Schltld. ニシキソウ (ケナシニシキソウ)

香川県 (1981) ではケナシニシキソウ *Chamaesyce humifusa* form. *glabra* を区別したが、米倉 (2012) では統合された。

Salicaceae ヤナギ科

Salix triandra L. タチヤナギ

1999年3月30日に牟礼町牟礼源氏で採集した。県内に点々と見られるが、稀である。

Violaceae スミレ科

Viola betonicifolia var. *albescens* × *Viola mandshurica* ハリマスミレ

アリアケスミレとスミレの雑種とされるもので、林 (2003) が1995年4月20日に琴南町で記録した。筆者は、1999年4月24日に高松市西植田町で確認した。県内に点々と見られる。

Viola betonicifolia var. *albescens* × *Viola inconspicua* subsp. *nagasakiensis* アリアケヒメスミレ

アリアケスミレとヒメスミレの雑種とされるもので、林 (2003) が2002年4月10日に仲南町で記録した。

Viola chaerophylloides (Regel) W.Becker var. *sieboldiana* (Maxim.) Makino ヒゴスミレ

Viola eizanensis (Makino) Makino var. *eizanensis* エイザンスミレ

香川県 (1981) ではエイザンスミレを少ししたが、エイザンスミレは高松市塩江町とまんのう町勝浦に稀に産するだけで、ヒゴスミレは讃岐山脈頂上部に点々と見られる。

Viola japonica × *Viola chaerophylloides* キクバコスミレ

コスミレとヒゴスミレの雑種とされるもので、林鈴以が2013年4月に高松市塩江町西で確認した。

Viola tokubuchiana var. *takedana* × *Viola chaerophylloides* var. *sieboldiana* キクバヒナスミレ

ヒナスミレとヒゴスミレの雑種とされるもので、林 (2003) が2002年7月29日に琴南町で記録した。

Viola grypoceras A.Gray var. *grypoceras* form. *purpurellocalcarata* (Makino) Hiyama et F.Maek. オトメスミレ

花卉が白く距が淡紅色になるタチツボスミレの品種で、林 (2003) が仲南町で記録した。
Viola grypoceras A.Gray var. *exilis* (Miq.)

Nakai form. *chionantha* F.Maek. シロバナコ
タチツボスミレ

コタチツボスミレの白花品種で、林
(2003) が塩江町、琴南町で記録した。

Viola grypceras var. *exilis* × *Viola obtusa* ト
ノウエスミレ

コタチツボスミレとニオイタチツボスミレ
の雑種とされるもので、林 (2003) が2002年
3月30日に財田町で記録した。

Viola grypceras var. *exilis* × *Viola ovato-*
oblonga コタチツボスミレ × ナガバナタチツ
ボスミレ

コタチツボスミレとナガバナタチツボスミ
レの雑種とされるもので、林 (2003) が2002
年3月30日に財田町で記録した。

Viola × *inouei* F.Maek. et T.Hashim., nom.
nud. ウスゲスミレ

ニオイタチツボスミレ *Viola obtusa* とナガバ
ノタチツボスミレ *Viola ovato-oblonga* の雑種
とされるもので、2014年4月6日に観音寺市
七宝山で確認した。他に、財田町の記録があ
る (林, 2003)。稀である。

Viola japonica Langsd. ex DC. form. *albida*
F.Maek. シロバナツクシコスミレ

コスミレの白花品種で、林 (2003) が塩江
町で記録した。

Viola × *ogawa* Nakai カツラギスミレ

ヒゴスミレ *Viola chaerophylloides* var. *sieboldi-*
ana とシハイスミレ *Viola violacea* var. *violacea* の
雑種とされるもので、林 (2003) が1995年10月
7日に琴南町で記録した。筆者は、2000年6
月8日に財田町中蓮寺峰で確認した。稀であ
る。

Viola × *ogawa* Nakai nothof. *variegata* H.Hama
ex T.Shimizu フイリカツラギスミレ

葉に白斑が入るカツラギスミレの品種で、
新名優が1994年に琴南町で報告した。

Viola ovato-oblonga (Miq.) Makino form.
variegata E.Hama マダラナガバナタチツボ
スミレ

葉脈沿いに赤斑が入るナガバナタチツボス
ミレの品種で、林 (2003) が琴南町で記録し
た。

Viola rossii Hemsl. form. *atropurpurea* (Nakai)
F.Maek. クロバナアケボノスミレ

花色が紫紅色から黒紫色に濃くなるアケボ
ノスミレの品種で、新名優が1994年に琴南町
で報告した。

Viola rostrata Pursh ナガハシスミレ

林 (2003) が1997年3月30日に財田町で記
録した。自然分布とするには疑問があり、移
入種の可能性がある。

Viola sieboldii Maxim. フモトスミレ

林 (2003) が1994年4月30日に国分寺町で、
他に塩江町で記録した。

Viola sieboldii Maxim. form. *variegata* (Nagas.
ex F.Maek.) F.Maek. et T.Hashim. ex
T.Shimizu フイリフモトスミレ

葉に白斑が入るフモトスミレの品種で、高
松市東植田町香川県公測森林公園で採集し
た。

Viola tokubuchiana Makino var. *takedana*
(Makino) F.Maek. ヒナスミレ (イヌガタ
ケスミレ)

林 (2003) はイヌガタケスミレ form.
yoshiokai を琴南町で記録したが、米倉 (2012)
ではヒナスミレに統合された。

Viola tokubuchiana Makino var. *takedana*
(Makino) F.Maek. form. *albiflora* Hayashi
シロバナヒナスミレ

ヒナスミレの白花品種で、林 (2003) が琴
南町で記録した

Viola tokubuchiana var. *takedana* × *Viola*
violacea var. *violacea* form. *versicolor* ヒナ
スミレ × フイリシハイスミレ

ヒナスミレとフイリシハイスミレの雑種と
推定されるもので、林 (2003) が2002年4月
12日に内海町で記録した。林は検討を要する
としているが、筆者は同地で確認しているの
で取り上げた。稀である

Viola variegata Fisch. ex DC. var. *nipponica*
Makino ゲンジスミレ

秋山敬典が2012年4月に丸亀市で確認した。個体数が少なく、稀である。

Viola violacea Makino var. *violacea* form.
versicolor E.Hama フイリシハイスミレ

葉脈にそって白斑の入るシハイスミレの品種で、林(2003)が満濃町で記録した。なお、琴南町でアカバナシハイスミレ form. *rubrum* の記録があるが(林, 2003), 米倉(2012)には掲載されていない。

Viola violacea Makino var. *makinoi* (H.Boissieu)
Hiyama ex F.Maek. マキノスミレ

林(2003)が2002年4月12日に内海町星ヶ城で記録した。本変種の扱いについては疑問があり(Yoshida et al., 2013), 分類学的な検討が必要である。当該箇所では、ヒナスミレとシハイスミレが同所的に生えており、どちらとも言えない個体があるが、これをマキノスミレとするには無理があると思う。

Viola yedoensis Makino var. *yedoensis* form.
albescens Hiyama ex F.Maek. シロノジスミレ

ノジスミレの白花品種で、1993年4月4日に大川町雨滝山で確認した。

Viola yedoensis Makino var. *yedoensis* form.
barbata Hiyama オトコノジスミレ

側弁基部に毛があるノジスミレの品種で、新名優が1982年に飯山町で報告した。

Geraniaceae フウロソウ科

Geranium thunbergii Siebold ex Lindl. et
Paxton form. *thunbergii* ベニバナゲンノショウコ

Geranium thunbergii Siebold ex Lindl. et
Paxton form. *pallidum* (Nakai ex H.Hara)
Murata シロバナゲンノショウコ

香川県(1981)では花色について細分しなかったが、米倉(2012)に掲載されている事から取り上げた。赤花と白花は同程度の割合で見られ、中間型の桃色花も見られる。

Geranium tripartitum R.Knuth var. *tripartitum*
form. *pilosellum* H.Hara ケナシコフウロ

コフウロの萼片が無毛の品種で、香川県(1981)では細分しなかったが、米倉(2012)に掲載されている事から取り上げた。

Lythraceae ミソハギ科

Rotala hippuris Makino ミズスギナ

1923年に大川郡長尾鍵池(中ノ池)で三木茂が採集した記録があるが(志賀他, 2009), その後確認されていない。

Trapa incisa Siebold et Zucc. ヒメビシ

三谷(1995)が記録したが、産地が記述されておらず、産地不詳である。筆者は確認できていない。

Trapa natans L. var. *pumila* Nakano ex Verdc.
コオニビシ

香川県(1981)では掲載しなかったが、米倉(2012)に掲載されている事から取り上げた。筆者は、日本産 *Trapa* ヒシ属の分類について、まだ確信を得ていない。ここでは取敢えず、果実が中型4刺のものを揚げておく(久米, 2008b)。ヒシ *Trapa japonica* と同程度普通に見られる。

Onagraceae アカバナ科

Circaea × dubia H.Hara オオタニタデ

タニタデ *Circaea erubescens* とウシタキソウ *Circaea cordata* の雑種とされるもので、坂口清一が1983年7月3日に琴南町前の川で報告したが、確認できていない。

Circaea × ovata (Honda) Boufford ヒロハノミズタマソウ(ミズタキソウ)

ウシタキソウ *Circaea cordata* とミズタマソウ *Circaea mollis* の雑種とされるもので、坂口清一が1976年8月15日に琴南町三頭越で報告したが、確認できていない。

Sapindaceae ムクロジ科

Acer argutum Maxim. アサノハカエデ

2011年10月12日にまんのう町勝浦大川真鈴峰で採集した。稀である。

Acer capillipes Maxim. ホソエカエデ

2001年5月11日に琴南町勝浦竜王山で採集した。稀である。

Acer cissifolium (Siebold et Zucc.) K.Koch ミツデカエデ

西内道夫が1998年9月12日に琴南町川東前の川で確認した。稀である。

Acer nipponicum H.Hara テツカエデ (広義)

和気俊郎が1986年8月21日に琴南町大川山で採集した。稀である。テツカエデは、米倉(2012)では2亜種4変種に細分されているが、分類学的検討を行っていないので、ここでは広義の学名としておく。

Acer pictum Thunb. subsp. *dissectum* (Wesm.) H.Ohashi form. *dissectum* (Wesm.) H.Ohashi エンコウカエデ (ケナシヤグルマカエデ)

香川県(1981)ではイタヤカエデ *Acer mono* subsp. *marmoratum* に含めたが、米倉(2012)に掲載されている事から取り上げた。なお米倉(2012)では広義のイタヤカエデは *Acer pictum* を採用している。

Acer pictum Thunb. subsp. *savatieri* (Pax) H.Ohashi イトマキイタヤ (モトゲイタヤ)

三谷(1995)が記録した。讃岐山脈の山地部で稀に見られ、高松市、まんのう町、三豊市等で確認した。

Rutaceae ミカン科

Phellodendron amurense Rupr. var. *amurense* キハダ

2014年5月22日にまんのう町勝浦三頭で採集した。他に、高松市塩江町大滝山、まんのう町勝浦小鉢滝・川東雨島で採集・確認した。稀である。

Skimmia japonica Thunb. var. *japonica* ミヤマシキミ

2004年5月21日に内海町星ヶ城山の山頂近くで確認した。樹幹が伏條せず1~2mに直

立する事から本変種とした。稀である。

Skimmia japonica Thunb. var. *intermedia* Komatsu form. *leucocarpa* (Nakai) Ohwi シロミノツルシキミ

果実が白色に熟すツルシキミの品種で、1988年3月16日に土庄町大部嶮岨山で確認した。他に、内海町星ヶ城山、塩江町上西大滝山で確認した。

Malvaceae アオイ科

Tilia japonica Makino ラセンソウ

坂口清一が1983年8月17日に琴南町真鈴峠で報告したが、確認できていない。

Balanophoraceae ツチトリモチ科

Balanophora nipponica Makino ミヤマツチトリモチ

2004年8月1日に塩江町上西松尾竜王山で採集した。同所のものは、全体が淡桃色をしており、四国山地で見られる茶褐色系のもものと異なっている。詳細な分類学的研究が必要である。稀である。

削除：ツチトリモチ *Balanophora japonica* Makino

香川県(1981)では、ツチトリモチを標本無しで掲載したが、その後の調査で発見されず、明確な証拠が無い事から、削除する

Santalaceae ビャクダン科

Viscum album L. subsp. *coloratum* Kom. form. *rubroaurantiacum* (Makino) Ohwi アカミヤドリギ

果実が赤橙色に熟れるヤドリギの品種で、1996年4月7日に財田町中蓮寺峰で確認した。他に、塩江町大滝山、琴南町大川山で確認した。

Polygonaceae タデ科

Persicaria erectominor (Makino) Nakai ヒメタデ

田代善太郎が1930年5月8日と1930年6月8日に小豆島で採集した記録がある（藤井他, 2014）。以後香川県では発見されていないが、近縁種と混同されている可能性があり、再調査が必要である。

Persicaria lapathifolia (L.) Delarbre var. *incana* (Roth) H.Hara サナエタデ

香川県 (1981) では、ウラジロサナエタデ *Polygonum lapathifolium* var. *salicifolia* を区別して掲載したが、米倉 (2012) では掲載されていない。

Persicaria maackiana (Regel) Nakai サデクサ

三谷 (1993b) が1982年9月16日高松市亀田南町で記録した。

Persicaria sagittata (L.) H.Gross var. *sibirica* (Meisn.) Miyabe ウナギツカミ (アキノウナギツカミ)

香川県 (1981) では、アキノウナギツカミ *Polygonum sagittatum* var. *sieboldii* とウナギツカミ *Polygonum sagittatum* var. *aestivum* を区別したが、米倉 (2012) では統合された。

Droseraceae モウセンゴケ科

Drosera tokaiensis (Komiya et C.Shibata) T.Nakam. et K.Ueda subsp. *tokaiensis* トウカイコモウセンゴケ (カンサイガタコモウセンゴケ)

香川県 (1981) ではコモウセンゴケ *Drosera spathulata* として掲載したが、岡崎綾子が1990年6月9日に財田町財田上灰倉で採集した標本に基づき、カンサイガタコモウセンゴケ (後にトウカイコモウセンゴケ) に訂正された (中村他, 1991)。他に、小豆島町福田丹波川、綾上町粉所東竹本・小野、綾南町千疋上千疋、綾歌町岡田上城山、満濃町神野香川県満濃池森林公園、まんのう町吉野桶樋、仲南町十郷後山・宮田、財田町財田中長野東・財田上野田原、大野原町丸井で採集・確認した。少ない。香川県ではコモウセンゴ

ケは見つかっていない。

Caryophyllaceae ナデシコ科

Dianthus japonicus Thunb. form. *albiflorus* Ohara ex Nakanishi シロバナハマナデシコ
ハマナデシコの白花品種で、2009年7月5日に直島町宮ノ浦で確認した。

Amaranthaceae ヒユ科

Achyranthes bidentata Blume var. *japonica* Miq. イノコズチ (ヒナタイノコズチ)

香川県 (1981) では、イノコズチ *Achyranthes japonica* とヒナタイノコズチ *Achyranthes fauriei* を区別したが、米倉 (2012) では同種とされた。
Chenopodium gracilispicum H.W.Kung イワアカザ

1986年12月10日に池田町神浦外浜皇子神社で採集した (村田源同定)。他に、詫間町志々島宮ノ浦で採集した。稀である。

Cornaceae ミズキ科

Cornus kousa Buerger ex Hance subsp. *kousa* form. *rosea* (Honda) Yonek. ベニヤマボウシ

苞が薄紅色になるヤマボウシの品種で、2014年6月17日にまんのう町勝浦横畑で確認した。

Cornus kousa Buerger ex Hance subsp. *kousa* form. *viridis* (Nakai) Y.N.Lee, comb. nud. アオヤマボウシ

薄緑色の小型の苞をつけるヤマボウシの品種で、香川県 (1981) では細分しなかったが、米倉 (2012) に掲載されている事から取り上げた。三谷 (1988) が記録した。

Hydrangeaceae アジサイ科

Hydrangea sikokiana Maxim. ヤハズアジサイ
2002年10月5日に塩江町上西松尾竜王山で採集した。高松市竜王山からまんのう町大川山にかけての讃岐山脈沿いで確認した。稀である。

Philadelphus satsumi Siebold ex Lindl. et Paxton form. *shikokianus* (Nakai) H. Ohba et S. Akiyama シコクウツギ

香川県 (1981) では細分せずにバイカウツギ *Philadelphus coronarius* としたが、香川県のものは花柱に毛のある本品種である。

Balsaminaceae ツリフネソウ科

Impatiens noli-tangere L. キツリフネ

2013年7月14日にさぬき市前山来栖で採集した。稀である。

Primulaceae サクラソウ科

Lysimachia japonica Thunb. var. *japonica* コナスビ (ナガエコナスビ)

香川県 (1980) ではナガエコナスビ *Lysimachia japonica* とコナスビ *Lysimachia japonica* form. *subsessilis* を区別したが、米倉 (2012) では統合された。

Lysimachia vulgaris L. subsp. *davurica* (Ledeb.) Tatew. クサレダマ

三谷進が1981年7月8日に坂出市城山で採集した。標本は筆者が保管している。

Theaceae ツバキ科

Camellia japonica L. var. *japonica* form. *leucantha* Makino ex H. Hara シロバナヤブツバキ

ヤブツバキの白花品種で、さぬき市、高松市、坂出市等で確認した。

Actinidiaceae マタタビ科

Actinidia rufa (Siebold et Zucc.) Planch. ex Miq. シマサルナシ

三谷 (1995) が大野原町で記録した。

Ericaceae ツツジ科

Hypopitys monotropa Crantz シャクジョウソウ

2006年7月22日にまんのう町中通大川山で

確認した。他に、三谷 (1990) の記録があるが、産地が記述されていない。稀である。

Rhododendron benhallii Craven ツリガネツツジ

西内道夫と高家和彦がまんのう町で確認した。

Rhododendron dilatatum var. *decandrum* × *Rhododendron weyrichii* var. *weyrichii* コバオンツツジ

トサノミツバツツジとオンツツジの雑種とされるもので、中間的な花色をしており、子房に腺毛と褐毛が混ざることから区別出来る。2012年4月18日にまんのう町勝浦奈良の木で確認した。両親種が生育している讃岐山脈上部に稀に見られる。

Rhododendron lagopus Nakai var. *lagopus* ダイセンミツバツツジ

2006年5月12日に小豆島町星ヶ城山で採集した。他に、高松市塩江町上西細尾峠、まんのう町勝浦竜王峠・中通大川山等で採集・確認した。稀である。

Rhododendron lagopus Nakai var. *niphophilum* (T. Yamaz.) T. Yamaz. ユキグニミツバツツジ

三谷 (1990) が記録したが、産地が記述されておらず、産地不詳である。

削除：サイコクミツバツツジ

香川県 (1980) では *Rhododendron nudipes* として文献引用 (正宗・里見, 1963) で掲載したが、その後の調査で確認されず、明確な証拠が見つかるまで削除する。

Garryaceae ガリア科 (アオキ科)

Aucuba japonica Thunb. var. *japonica* form. *viridiflora* Makino アオバナアオキ

花が緑色で赤紫色にならないアオキの品種で、香川県 (1981) では花色について細分しなかったが、米倉 (2012) に掲載されている事から取り上げた。

Rubiaceae アカネ科

Damnacanthus giganteus (Makino) Nakai
ナガバジュズネノキ

2007年1月20日高松市塩江町安原上芦川で採集した。稀である。

Galium pogonanthum Franch. et Sav. var. *pogonanthum* form. *nudiflorum* (Makino)
Ohwi ケナシヤマムグラ

ヤマムグラの花冠に毛の無い品種で、香川県(1980)では細分しなかったが、米倉(2012)に掲載されている事から取り上げた。

Galium trachyspermum A.Gray var. *trachyspermum*
ヨツバムグラ

香川県(1980)では標本不存の為保留されたもので、農耕地近縁や林縁等に生育し、全県的に分布している。2012年7月25日に高松市屋島東町檀浦で確認した。少ない。

Galium verum L. subsp. *asiaticum* (Nakai)
T.Yamaz. var. *asiaticum* form. *luteolum*
Makino キバナカワラマツバ(ウスイロカワラマツバ)

香川県(1980)では花色について細分しなかったが、米倉(2012)に掲載されている事から取り上げた。香川県では、ウスイロカワラマツバ型のものが見られる。

Oldenlandia brachypoda DC. フタバムグラ
(ナガエフタバムグラ)

香川県(1980)ではナガエノフタバムグラ *Hedyotis diffusa* var. *longipes* を区別したが、米倉(2012)では統合された。

Paederia foetida L. ヘクソカズラ(ハマサオトメカズラ, ツツナガヤイトバナ)

香川県(1980)ではハマサオトメカズラ *Paederia scandens* var. *maritima* を区別したが、米倉(2012)では統合された。

Paederia foetida L. form. *microphylla* (Hara)
Tsukaya, Imaichi et J.Yokoy. コバノヘクソカズラ

香川県(1980)ではホソバヤイトバナの和名を使ったが、米倉(2012)ではコバノヘク

ソカズラの和名になった。

Rubia hexaphylla (Makino) Makino オオアカネ

坂口清一が1980年6月29日仲南町塩入で報告したが、確認できていない。

Gentianaceae リンドウ科

Gentiana squarrosa Ledeb. コケリンドウ

三谷(1993b)が記録したが、産地が記述されておらず、産地不詳である。

Loganiaceae マチン科

Gardneria nutans Siebold et Zucc. ホウライカズラ

2006年7月27日に小豆島町坂手北谷で採集した。他に、佐藤幸隆が引田町川股で採集し、西内道夫が塩江町上西で報告した。少ない。

Apocynaceae キョウチクトウ科

Jasminanthes mucronata (Blanco) W.D.Stevens
シタキシソウ

中井京が1986年5月25日に詫間町紫雲出山で開花中のものを報告した。筆者は、2013年3月6日に東かがわ市川股荒倉谷で採集した。稀である。

Metaplexis japonica (Thunb.) Makino form. *albiflora* Honda シロバナガガイモ

ガガイモの白花品種で、香川県(1980)では花色について細分しなかったが、米倉(2012)に掲載されている事から取り上げた。

Boraginaceae ムラサキ科

Omphalodes japonica (Thunb.) Maxim. var. *japonica* form. *albiflora* S.Okamoto ex H.Hara
シロバナヤマルリソウ

香川県では淡青色の花ばかりで、他県で見られるような濃青色の花は見られない。花色の濃淡の変異が大きく、香川県(1980)では細分しなかった。県内で稀に純白色の花が見

られ、米倉（2012）に掲載されている事から取り上げた。

Lithospermum erythrorhizon Siebold. et Zucc.
ムラサキ

西内道夫が1995年6月11日に琴南町川東で確認した。稀である。

Convolvulaceae ヒルガオ科

Calystegia pubescens Lindl. form. *albiflora*
(Makino) Yonek. シロバナヒルガオ

ヒルガオの白花品種で、高松市、丸亀市の報告がある。

Cuscuta japonica Choisy form. *viridicaulis*
(Honda) Sugim., comb. nud. ミドリネナシカズラ

茎が緑色のネナシカズラの品種で、香川県（1980）では細分しなかったが、米倉（2012）に掲載されている事から取り上げた。

Oleaceae モクセイ科

Fraxinus longicuspis Siebold et Zucc. var. *longicuspis* ヤマトアオダモ

2010年6月11日に高松市塩江町大滝山で採集した。稀である。

Ligustrum ibota Siebold サイゴクイボタ

2013年5月2日にまんのう町川東雨島で採集した。標本は、徳島県立博物館に寄贈した。稀である。

Gesneriaceae イワタバコ科

Conandron ramondioides Siebold et Zucc. var. *ramondioides* form. *leucanthus* (Nakai) Okuyama シロバナイワタバコ

イワタバコの白花品種で、高松市塩江町、まんのう町の報告がある。

Plantaginaceae オオバコ科

Deinostema adenocaula (Maxim.) T.Yamaz. マルバノサワトウガラシ

1993年8月31日に土庄町豊島家浦神子ヶ浜

の溜め池で採集した。稀である。

Limnophila chinensis (Osbeck) Merr. subsp. *aromatica* (Lam.) T.Yamaz. シソクサ

1992年10月27日に白鳥町与田山「行成池」で採集した。稀である。

Veronica peregrina L. form. *peregrina* ケナシムシクサ

Veronica peregrina L. form. *xalapensis* (Humb.) Kitag. ケムシクサ（ムシクサ）

毛の有無による品種関係で、香川県（1980）では細分しなかったが、米倉（2012）に掲載されている事から取り上げた。香川県ではケナシムシクサの方が多い。

Scrophulariaceae ゴマノハグサ科

削除：ゴマノハグサ

香川県（1980）では、*Scrophularia buergeriana*を標本番号付で掲載したが、これは確認記録だけの誤表記であり、その後の調査でも確実な証拠が見つからなかった。新しい証拠が発見されるまで削除する。

Lamiaceae シソ科

Ajuga decumbens Thunb. var. *decumbens* form. *purpurea* Honda モモイロキランソウ

花が桃色のキランソウの品種で、2013年4月7日にまんのう町川東三角で、他に高松市、観音寺市で確認した。

Ajuga japonica × *Ajuga decumbens* var. *decumbens* オウギカズラ×キランソウ

オウギカズラとキランソウの雑種と推定されるもので、三谷（1990）が塩江町大滝山で記録し、オウタキオウギカズラの和名を与えた。

Ajuga × *mixta* Makino ジュウニキランソウ

キランソウ *Ajuga decumbens* var. *decumbens* とジュウニヒトエ *Ajuga nipponensis* の雑種とされるもので、ジュウニヒトエの分布域で稀に見られる。2013年5月16日に高松市屋島西町で両種の間形質のものを種々確認した。

Ajuga yezoensis Maxim. ex Franch. et Sav.
var. *tsukubana* Nakai ツクバキンモンソウ

高松市塩江町大滝山・竜王山、まんのう町大川山・国営讃岐まんのう公園等で採集・確認した。最初はニシキゴロモ *Ajuga yezoensis* var. *yezoensis* として報告されたが、大平豊が1986年に本種に訂正報告した。ただ近県の資料では、高知県では記載がなく（高知県他、2009）、徳島県ではツクバキンモンソウ（阿部、1990）、愛媛県ではニシキゴロモ（山本、1978）として見解が分かっている。筆者は、本件に関する専門的な知識を有していないので、新知見が得られるまでツクバキンモンソウを採用しておく。稀である。

Ajuga yezoensis Maxim. ex Franch. et Sav.
var. *tsukubana* Nakai form. *alba* Sugim. ウドキラソウ

ツクバキンモンソウの白花品種で、雁木美衣が1992年4月20日に満濃町吉野香川県満濃池森林公園で報告した。上記変種の検討結果によっては、組合せが変更される可能性がある。

Clinopodium chinense (Benth.) Kuntze
subsp. *glabrescens* (Nakai) H.Hara ヤマクルマバナ

五所野尾優が2006年8月にまんのう町で報告した。他に、移入・帰化と推定されるものが最近見られる。

Elsholtzia nipponica Ohwi フトボナギナタコウジュ

三谷進が1982年9月28日琴南町で報告した。他に、西内道夫が琴南町川東雨島で報告した。

Isodon inflexus (Thunb.) Kudô form. *leucanthus* (Nakai) H.Hara シロバナヤマハッカ

ヤマハッカの白花品種で、高松市、三豊市等の報告がある。

Isodon shikokianus (Makino) H.Hara var. *intermedius* (Kudô) Murata タカクマヒキ

オコシ

1981年10月18日に琴南町大川山で確認した。高松市塩江町大滝山からまんのう町大川山にかけての讃岐山脈山頂部の落葉広葉樹林に生育している。少ない。

Lamium amplexicaule L. form. *albiflorum*
D.M.Moore シロバナホトケノザ

ホトケノザの白花品種で、牟礼町八栗の報告がある。

Lycopus cavaleriei H.Lév. コシロネ（ヒメサルダヒコ）

香川県（1980）ではヒメサルダヒコ *Lycopus ramosissimus* とコシロネ *Lycopus ramosissimus* var. *japonicus* を区別したが、米倉（2012）では統合された。

Mosla japonica (Benth. ex Oliv.) Maxim.
var. *thymolifera* (Makino) Kitam. シロバナヤマジソ（アオヤマジソ）

2005年9月30日に多度津町奥白方黒戸山の裸岩地で採集した。花は白く、葉や茎等、植物体全体が淡緑色をしていることから本変種と同定した。当該地では数100株が群生しているが、他に産地が見つかっておらず、全県的には稀である。

Pogostemon yatabeanus (Makino) Press ミズトラノオ

三木茂が1923年に木田郡井戸村で採集した記録があるが（志賀他、2009）、その後確認されていない。

Salvia nipponica Miq. var. *trisecta* (Matsum. ex Kudô) Honda ミツバコトジソウ

葉が鉾型で3全裂するキバナアキギリの変種で、香川県（1980）では細分しなかったが、米倉（2012）に掲載されている事から取り上げた。高松市塩江町上西、まんのう町勝浦真鈴で採集・確認した。

Scutellaria brachyspica Nakai et H.Hara form. *albiflora* Hayashi et Y.Kobay. シロバナオカタツナミソウ

オカタツナミソウの白花品種で、2004年5

月22日大野原町五郷有木で、他に高松市塩江町安原上東で確認した。

Scutellaria indica L. var. *parvifolia* (Makino) Makino form. *alba* (H.Hara) H.Hara ex Murata et T.Yamaz. シロバナコバナツナミ

コバナツナミの白花品種で、2013年5月5日に高松市屋島西町で、他に詫間町紫雲出山で確認した。

Scutellaria pekinensis Maxim. var. *transitra* (Makino) H.Hara ヤマトツナミソウ

坂口清一が1982年8月22日に池田町三都半島で報告したが、確認できていない。他に、三谷(1990)が記録したが、産地が記述されていない。

Scutellaria shikokiana Makino var. *shikokiana* ミヤマナミキ

2002年6月15日に仲南町塩入脇野本谷で採集した。他に、西内道夫が高松市塩江町、まんのう町で報告した。稀である。

Scutellaria shikokiana Makino var. *pubicaulis* (Ohwi) Kitam. ケミヤマナミキ

三谷進が1978年5月15日白鳥町黒川で、1979年10月21日塩江町大滝山で報告した。また、西内道夫が内海町星ヶ城山、三木町奥山、2000年7月9日に琴南町川東前の川で報告した。筆者は、2014年5月7日にまんのう町造田柞野大川山で採集した。稀である。

Mazaceae サギゴケ科

Mazus pumilus (Burm.f.) Steenis form. *senanensis* (Asai) Yonek. シロバナトキワハゼ

トキワハゼの白花品種で、高松市、坂出市等の報告がある。

Orobanchaceae ハマウツボ科

Phacellanthus tubiflorus Siebold et Zucc. キヨスミウツボ

西内道夫が1993年7月4日に琴南町大川山

で確認した。筆者は、2014年6月1日に東かがわ市坂元龍王ビク山尾根で採集した。この標本は、徳島県立博物館に寄贈した。稀である。

Phtheirospermum japonicum (Thunb.) Kanitz form. *albiflorum* (Honda) H.Hara シロバナコシオガマ

コシオガマの白花品種で、高松市、綾川町等の報告がある。

Lentibulariaceae タヌキモ科

Utricularia australis R.Br. イヌタヌキモ

香川県(1980)ではタヌキモ*Utricularia vulgaris* var. *japonica*として掲載したが、その後の研究でイヌタヌキモに訂正して詳細を報告した(久米, 1991)。少ない。これまでのところ香川県では、タヌキモ*Utricularia* × *japonica*は見つかっていない。

Utricularia minor L. ヒメタヌキモ

氏家由三が1989年10月15日に満濃町吉野龍頭「逆様池」で採集した。詳細は久米(1991)で報告した。その後、満濃町炭所西塩田奥「下池」、財田町財田中入樋鳴山で採集した。稀である。

Utricularia uliginosa Vahl ムラサキミミカキグサ

1989年10月8日に満濃町炭所西塩田奥「下池」、2008年10月21日に小豆島町福田丹波川の湧水湿地で採集した。稀である。

Aquifoliaceae モチノキ科

Ilex macropoda Miq. form. *pseudomacropoda* (Loes.) H.Hara ケナシアオハダ

葉裏脈上に開出毛の無いアオハダの品種で、香川県(1980)では毛の状態について細分しなかったが、米倉(2012)に掲載されている事から取り上げた。

Ilex pedunculosa Miq. var. *pedunculosa* form. *aurantiaca* (Koidz.) Ohwi キミソヨゴ

果実が黄色に熟すソヨゴの品種で、2005年

10月14日に綾上町粉所西赤羽，2014年4月6日に観音寺市高屋町七宝山で確認した。

Campanulaceae キキョウ科

Adenophora triphylla (Thunb.) A.DC. var. *japonica* (Regel) H.Hara form. *canescens* (Franch. et Sav.) Kitam. シラゲシャジン

全体に白毛が密生するツリガネニンジンの品種で，香川県(1980)では毛の状態について細分しなかったが，米倉(2012)に掲載されている事から取り上げた。

Menyanthaceae ミツガシワ科

Nymphoides coreana (H.Lév.) H.Hara ヒメシロアサザ

1986年9月14日に土庄町豊島家浦柚ダツガ鼻の後背湿地で，2003年9月3日に土庄町豊島家浦神子ヶ浜の「砂取り池」で採集した。稀である。

Asteraceae キク科

Artemisia japonica Thunb. subsp. *japonica* var. *japonica* オトコヨモギ(キレハオトコヨモギ)

香川県(1980)ではキレハオトコヨモギ *Artemisia japonica* form. *laciniifolia*を区分したが，米倉(2012)では統合された。最近，緑化活動に由来すると考えられる帰化品が見られる。

Aster ageratoides Turcz. var. *ageratoides* シロヨメナ(ホソバナシロヨメナ)

香川県(1980)ではホソバナシロヨメナ *Aster trinervius* subsp. *leiophyllus* var. *stenophyllus*を区分したが，米倉(2012)では統合された。*Aster semiamplexicaulis* (Makino) Makino ex Koidz. イナカギク(ヤマシロギク)

香川県(1980)ではイナカギク *Aster trinervius* subsp. *amplexifolius*として掲載した。当時から検討者の間では，県産のものは標準型ではないと言う認識があった。最近こ

れをケシロヨメナ(キンケイヨメナ) *Aster ageratoides* var. *intermedius*とする見方があるが(小川誠私信)，筆者は結論に到っていない。ここでは，従来通りイナカギクとしておく。

Chrysanthemum × *aphrodite* Kitam. サンインギク(シロバナハマカンギク)

シマカンギク *Chrysanthemum indicum* var. *indicum*とキク *Chrysanthemum morifolium*の雑種とされるもので，人家や墓地周辺に生育する。2001年12月27日に津田町猪塚で採集した。稀である。

Chrysanthemum indicum L. var. *albescens* Makino form. *flaviflorum* Makino* ウスギハマカンギク

香川県(1980)ではシマカンギクの淡黄花品種として掲載したが，米倉(2012)では品種として採用されていない。

Chrysanthemum japonense (Makino) Nakai var. *japonense* ノジギク(セトノジギク)

香川県(1980)ではセトノジギク *Chrysanthemum ornatum* var. *spontaneum* form. *debilis*を文献引用で掲載したが，岡崎綾子が1989年12月10日に仁尾町南草木天王で採集した。米倉(2012)では統合された。稀である。*Chrysanthemum makinoi* Matsum. et Nakai × *Chrysanthemum indicum* L. var. *indicum* シロバナシマカンギク

リュウノウギクとシマカンギクの雑種とされるもので，1989年12月10日に土庄町上庄観音原で採集した。稀である。

Cirsium yoshinoi Nakai var. *yoshinoi* ヨシノアザミ

Cirsium yoshinoi Nakai var. *shikokianum* Kitam. シコクアザミ

香川県(1980)ではヨシノアザミ *Cirsium nipponicum* var. *yoshinoi*とシコクアザミ *Cirsium nipponicum* var. *shikokiana*を区別した。筆者はこれを同一とする見解であるが，米倉(2012)では別変種として記載されている。

る事から残しておく。

Crepidiastrum × *surugense* (Hisauti) Yonek.
ヤクシアゼトウナ

ヤクシソウ *Crepidiastrum denticulatum* とアゼトウナ *Crepidiastrum keiskeanum* の雑種とされるもので、三谷 (1993b) が引田町で記録した。

Eupatorium lindleyanum DC. var. *lindleyanum*
サワヒヨドリ (ミツバサワヒヨドリ)

香川県 (1980) ではミツバサワヒヨドリ *Eupatorium lindleyanum* form. *trisectifolium* を区分したが、米倉 (2012) ではサワヒヨドリに統合された。

Eupatorium lindleyanum DC. var. *lindleyanum* form. *eglandulosum* (Kitam.) Murata et H.Koyama ホシナシサワヒヨドリ

葉裏に腺点の無いサワヒヨドリの品種で、坂口清一が高松市紫雲山で報告した。

Eupatorium makinoi T.Kawahara et Yahara var. *makinoi* キクバヒヨドリ

Eupatorium makinoi T.Kawahara et Yahara var. *oppositifolium* (Koidz.) T.Kawahara et Yahara オオヒヨドリバナ

香川県 (1980) ではヒヨドリバナ *Eupatorium chinense* var. *simplicifolium* を広義に扱ったが、米倉 (2012) ではヒヨドリバナ二倍体をキクバヒヨドリとし、ヒヨドリバナ三倍体をオオヒヨドリバナとしている。香川県では、オオヒヨドリバナの形態のものが普通で、キクバヒヨドリの形態は稀である。

Eupatorium tripartitum (Makino) Murata et H.Koyama ミツバヒヨドリバナ (ミツザケヒヨドリ)

2005年8月28日に土庄町小部嶮岨山で採集した。他に、観音寺市粟井町奥谷で採集した。また、内海町寒霞溪、白鳥町五名の報告がある。稀である。

Ixeris stolonifera A.Gray var. *stolonifera* form. *albiflora* Sugim. シロバナイワニガナ

イワニガナの白花品種で、三谷 (1993b)

が琴南町大川山で記録した。

Paraprenanthes sororia (Miq.) C.Shih form. *sororia* ケムラサキニガナ

Paraprenanthes sororia (Miq.) C.Shih form. *glabra* Yonek. ケナシムラサキニガナ

香川県 (1980) では花序柄の腺毛の有無を区別しなかったが、米倉 (2012) に掲載されている事から取り上げた。ケムラサキニガナは、三谷 (1993b) が高松市屋島と塩江町大滝山で記録した。

Pterocypsela indica L. アキノノゲシ (ホソバアキノノゲシ)

香川県 (1980) ではホソバアキノノゲシ *Lactuca indica* form. *indivisa* とアイアキノノゲシ *Lactuca indica* form. *intermedia* を区分したが、米倉 (2012) では統合された。

Sigesbeckia orientalis L. ツクシメナモミ

三谷進が1982年10月2日庵治町で報告した。三谷 (1993b) は、絶滅したと記述している。

Sonchus oleraceus L. ノゲシ (ハルノノゲシ, アイノゲシ)

香川県 (1980) ではアイノゲシ *Sonchus oleraceo-asper* を区別して帰化植物としたが、米倉 (2012) ではノゲシに統合して在来種にしている。ここでは、米倉 (2012) に従って在来種とした。植村修二 (私信) によれば、アイノゲシは雑種不稔であると言い、ハルノノゲシと区別するべきかもしれない。

Taraxacum hideoi Nakai ex H.Koidz. キビシロタンポポ

1993年4月16日に白鳥町湊水入の白鳥町役場中庭で採集した。その後当該生育地は、土地造成で消滅した。稀である。

類似したものにカンサイタンポポ *Taraxacum japonicum* の白花品種があるが、総苞外片の形態と瘦果の色で区別出来る。当該品種は、東かがわ市、さぬき市、まんのう町で確認した。

Taraxacum pectinatum Kitam. クシバタンポポ

1983年4月7日に大野原町五郷海老濱石砂子で採集した。稀である。

Youngia akaoni Seriz.* アカオニタビラコ (アイオニタビラコを含む)

2014年5月8日にまんのう町炭所西国営讃岐まんのう公園で採集した。本種とオニタビラコ (アオオニタビラコ) *Youngia japonica* の雑種アイオニタビラコは、不稔と言う (植村修二私信)。ここでは稔性を確認していないのでアカオニタビラコに含めて扱っておく。稀である。

Adoxaceae レンブクソウ科

Viburnum wrightii Miq. var. *stipellatum* Nakai
オオミヤマガズミ (ホシナシミヤマガズミ)

葉の表面に短毛と星状毛が有りざらつくミヤマガズミの変種で、香川県 (1980) では細分しなかったが、米倉 (2012) に掲載されている事から取り上げた。坂口清一がホシナシミヤマガズミとして報告した。葉の形質は変異が大きく、連続的であり、細分する事には疑問がある。

Caprifoliaceae スイカズラ科

Abelia × integrima (Nakai) Sugim. マルバツクバネウツギ

コツクバネウツギ *Abelia serrata* var. *serrata* とツクバネウツギ *Abelia spathulata* var. *spathulata* の雑種とされるもので、2013年8月17日にまんのう町勝浦三頭峠で採集した。萼裂片が2~5枚あり、両種の形質を示している。標本は、徳島県立博物館に寄贈した。稀である。

Abelia serrata Siebold et Zucc. var. *serrata* form. *obspathulata* (Koidz.) Sugim. ホソバコツクバネウツギ

香川県 (1980) では細分しなかったが、米倉 (2012) に掲載されている事から取り上げた。葉の広狭、鋸歯の大小は変異が大きい。

Lonicera ramosissima Franch. et Sav. ex Maxim. var. *kinkiensis* (Koidz.) Ohwi キンキヒョウタンボク

三谷 (1988) が産地不詳で記録したが、西内道夫が1997年4月27日に塩江町大滝山で確認した。稀である。

Weigela decora (Nakai) Nakai var. *decora* form. *unicolor* (Nakai) H.Hara ベニバナニシキウツギ

三谷 (1988) が産地不詳で記録したが、別途財田町財田上猪鼻として報告している。

Araliaceae ウコギ科

Hydrocotyle yabei Makino var. *yabei* ヒメチドメ

2002年9月23日に仲南町塩入杵多尾で採集した。他に、塩江町大滝山で採集した。稀である。

Kalopanax septemlobus (Thunb.) Koidz. var. *septemlobus* ハリギリ

葉裏に毛の無い型で、香川県 (1980) では標本不存で掲載しなかったが、稀に見られる。2013年5月16日に高松市屋島東町で確認した。

Kalopanax septemlobus (Thunb.) Koidz. var. *septemlobus* form. *maximowiczii* (Van Houtte) H.Obashi ケハリギリ (キレハケハリギリ)

香川県 (1980) ではキレハケハリギリ *Kalopanax pictus* var. *magnificus* form. *maximowiczii* を区別したが、米倉 (2012) では統合された。

Apiaceae セリ科

Angelica pubescens Maxim. var. *pubescens* シシウド

三谷 (1993b) が記録したが、産地が記述されておらず、産地不詳である。

参考資料

最近になって、末広喜代一香川大学名誉教授のご厚意で、浦上（1932）の詳細な資料を見る機会があった。古い資料であり、標本や写真が残されていないが、文中無視できない植物名が掲載されており、参考資料として今後の調査に向けて注意喚起をしておく。なお学名は記述されておらず、ここでは米倉（2012）を使用した。

Liliaceae ユリ科

カタクリ *Erythronium japonicum* Decne.

小豆島洞雲山と記述されている。現在の小豆島町坂手洞雲山の事である。本来落葉広葉樹林下に生育する春植物であり（河野，2004），何かの誤認であろう。小豆島では、ウバユリ *Cardiocrinum cordatum* var. *cordatum* をカタクリと方言するが、浦上の文中にウバユリの記述が見られる事から、経緯は不明である。

ノヒメユリ *Lilium callosum* Siebold et Zucc. var. *callosum*

牛島と記述されている。現在の丸亀市牛島である。植物地理上分布域を外れており（北村他，1964），生育は疑問である。牛島には複数回調査に赴いたが、ヒメユリ *Lilium concolor* var. *partheneion* は確認できたが、ノヒメユリは発見できなかった。なお浦上の文中にヒメユリの記述が見られる事から、経緯は不明である。

Ranunculaceae キンポウゲ科

ノカラマツ *Thalictrum simplex* L. var. *brevipes* H.Hara

多度津亀笠島と記述されている。現在の多度津町亀笠島である。小さな無人島であり、調査に赴いた事はない。アキカラマツ *Thalictrum minus* var. *hypoleucum* の誤認とも考えられるが、文中にアキカラマツの記述があり、経緯は不明である。

Ericaceae ツツジ科

アカモノ *Gaultheria adenothrix* (Miq.) Maxim.

小豆島洞雲山と記述されている。現在の小豆島町坂手洞雲山の事である。本来亜高山帯に生育する植物であり（北村・村田，1971），立地環境的に無理がある。前記カタクリ同様、何かの誤認か、寺院等で栽培されていたものか、経緯は不明である。三木（1955）が文献引用している。

Lamiaceae シソ科

イブキジャコウソウ *Thymus quinquecostatus* Celak. var. *ibukiensis* Kudô

小豆島寒霞溪と記述されている。現在の小豆島町寒霞溪の事である。浦上以外には確認記録が無く、類似種の誤認かもしれないが、早い段階で絶滅した可能性がある。三木（1955）が文献引用している。

Asteraceae キク科

イズハハコ *Conyza japonica* (Thunb.) Less.

小豆島池田村三都半島と記述されている。現在の小豆島町三都半島の事である。浦上以外には確認記録が無く、類似種の誤認かもしれないが、早い段階で絶滅した可能性がある。

最後になるが、貴重な調査資料を多数残された香川植物の会の先人並びに会員諸氏、同定作業で丁寧なご指導を賜った諸先生方にあつく御礼申し上げる。

引用文献

- 阿部近一. 1990. 徳島県植物誌. 教育出版センター, 徳島.
- 藤井伸二・牧 雅之・國井秀伸. 2014. 島根県新産植物3種の記録（シログワイ, ノグイオウ, ヒメタデ）とアオヒメタデに関するノート. 分類14（2）: 169-176.
- 林 鈴以. 2003. 香川県産スミレ目録. 高知県の植物17. 土佐植物研究会: 161-168.
- 星野卓二・正木智美. 2002. 岡山県スゲ属植物図譜, 岡山県カヤツリグサ科植物図譜

- (I). 山陽新聞社, 岡山.
- 茨木 靖・久米 修・小山隆義. 2013. 四国におけるハネガヤ (イネ科) の分布. 植物研究雑誌88 (5): 330-334.
- 角野康郎. 1994. 日本水草図鑑. 文一総合出版, 東京.
- . 2014. ネイチャーガイド 日本の水草. 文一総合出版, 東京.
- 角野康郎・久米 修. 1992. 香川県の冬緑性アオウキクサ属植物. 水草研究会会報47: 11-14.
- 香川県. 1980. 香川県植物誌 (合弁花). 香川県環境保健部自然保護課.
- . 1981. 香川県植物誌 (離弁花). 香川県環境保健部自然保護課.
- . 1983. 香川県植物誌 (単子葉・裸子). 香川県環境保健部環境自然保護課.
- . 1984. 香川県植物誌 (シダ植物). 香川県環境保健部環境自然保護課.
- 勝山輝男. 2005. 日本のスゲ. 文一総合出版, 東京.
- 河野昭一. 2004. 植物生活史図鑑 I 春の植物 1. 北海道大学図書刊行会, 札幌.
- 北村四郎・村田 源. 1971. 原色日本植物図鑑 (木本編 I). 保育社, 大坂.
- 北村四郎・村田 源・小山鐵夫. 1964. 原色日本植物図鑑 (下). 保育社, 大坂.
- 高知県・財団法人高知県牧野記念財団. 2009. 高知県植物誌. 高知県, 高知.
- 久米 修. 1991. 香川県におけるタヌキモ類について. 水草研究会会報43: 18-23
- . 1992. 香川県のタケ科植物. 香川生物19: 45-51.
- . 1998. 香川県のフサモ属について. 水草研究会会報64: 9-15.
- . 2008a. 香川県のミクリ属. 水草研究会誌90: 20-23.
- . 2008b. ヒシ属の継続栽培試験に見られる変異 3. 香川生物35: 1-8.
- 正宗巖敬・里見信生. 1963. 小豆島の植物. 北陸の植物の会.
- 三木 茂. 1955. 小豆島の植物について. 小豆島の自然, 関西汽船株式会社船客課 (大阪市立自然科学博物館編): 6-8.
- 三谷 進. 1986. 香川県産植物目録 (I). 高知県の植物8, 土佐植物研究会: 22-37.
- . 1987. 小豆島産スゲ属植物目録. 植物地理・分類研究35 (2): 84.
- . 1988. 香川県産植物目録 (II). 高知県の植物 9, 土佐植物研究会: 51-76.
- . 1990. 香川県産植物目録 (III). 高知県の植物10, 土佐植物研究会: 11-26.
- . 1991. 小豆島のスゲ属 2 種の分布. すげの会会報 2, すげの会: 2.
- . 1992. 香川県のカヤツリグサ科の記録 (I). すげの会会報 3, すげの会: 25-27.
- . 1993a. 香川県のカヤツリグサ科の記録 (II). すげの会会報 4, すげの会: 29-30.
- . 1993b. 香川県産植物目録 (IV). 高知県の植物11, 土佐植物研究会: 21-34.
- . 1995. 香川県産植物目録 (V). 高知県の植物12, 土佐植物研究会: 39-51.
- 邑田 仁監修・米倉浩司著. 2012. 日本維管束植物目録. 北隆館, 東京.
- . 監修・ - 著. 2013. 維管束植物分類表. 北隆館, 東京.
- 長田武正. 1989. 日本イネ科植物図譜. 平凡社, 東京.
- 中村俊之・久米 修・角野康郎. 1991. 四国のカンサイガタコモウセンゴケ. 植物研究雑誌66 (2): 126
- 鳴橋直弘・岩坪美兼. 2010. 日本産バラ科ワレモコウ属の 2 新雑種. 植物地理・分類研究58 (1): 15-19.
- 大平 豊. 1999. 四国産植物短報 (2). 高知県の植物15, 土佐植物研究会: 45-50.
- 志賀 隆・藤井伸二・瀬戸 剛. 2009. 三木茂博士寄贈水草腊葉標本目録. 大阪市立自

- 然史博物館収蔵資料目録41.
- 鈴木貞雄. 1996. 日本タケ科植物図鑑. 聚海書林, 千葉.
- T. Shimizu. 2009. *Carex benkei*, a New Species of *Carex* (Cyperraceae) from Japan and China. *Acta Phytotaxonomica et Geobotanica* 60 (1) : 41-46.
- 浦上仁一. 1932. 讃岐郷土叢書第三編 讃岐島嶼に於ける地質礦物及び植物の分布現象, 讃岐郷土研究会蔵版. 香川県教育図書.
- 山本四郎. 1978. 愛媛県産植物の種類. 愛媛植物研究会.
- 吉田一代. 2007. 香川県の海岸植物. 香川の生物 : 211-214.
- M. Yoshida, H. Hayakawa, T. Fukuda & J. Yokoyama. 2013. Incongruence between morphological and molecular traits in populations of *Viola violacea* (Violaceae) in Yamagata Prefecture, northern Honshu, Japan. *Acta Phytotaxonomica et Geobotanica* 63 (3) : 121-134.